

令和3年度

事業概要

社会福祉法人東桜会

目 次

法人の沿革	1
施設の概要	2
I 特別養護老人ホーム麻機園	2
II ケアハウス桜花	4
法人の理念	6
令和2年度事業計画	7
事業の状況	21
I 社会福祉法人東桜会	
〔1〕 法人の経営施設及び事業	22
〔2〕 組織図	23
〔3〕 職員の状況	24
〔4〕 理事会・評議員会の開催状況	25
〔5〕 財務規律の確立に向けた取組	28
〔6〕 低所得者に対する社会福祉法人利用者負担軽減制度事業	28
〔7〕 地域社会への貢献	28
II 特別養護老人ホーム麻機園	29
III ケアハウス桜花	39
IV 在宅サービス	
【1】 麻機園（ショートステイ）	46
【2】 麻機園デイサービスセンター	47
【3】 麻機園ヘルパーステーション	51
【4】 麻機園ケアプランサービス	53

法人の沿革

昭和62年 1月	社会福祉法人、特別養護老人ホーム設立準備会発足
62年 9月21日	特別養護老人ホーム麻機園 建築工事着工
62年10月13日	社会福祉法人東桜会 認可
63年 3月20日	特別養護老人ホーム麻機園 竣工
63年 4月 1日	特別養護老人ホーム麻機園 開園 (定員50名 ショートステイ4名)
63年10月 1日	麻機園デイサービスセンター 開始
平成 2年10月 1日	麻機園入浴サービス事業 開始
3年 7月29日	特別養護老人ホーム麻機園 増築工事着工
4年 1月 1日	麻機園在宅介護支援センター事業 開始
4年 3月 1日	麻機園ホームヘルプサービス事業 開始
4年 3月25日	特別養護老人ホーム麻機園 増築工事竣工
4年 4月 1日	特別養護老人ホーム麻機園増床 (定員80名 ショートステイ20名)
8年 8月 1日	軽費老人ホームケアハウス桜花 建築工事着工
8年11月 1日	麻機園食事サービス事業 開始
9年 3月31日	軽費老人ホームケアハウス桜花 竣工
9年 4月 1日	軽費老人ホームケアハウス桜花 開設 (定員50名) 在宅介護支援センター、ヘルパーステーション併設
10年 4月 1日	麻機園デイサービス (E型) 事業 開始
11年 4月 1日	ホリデイサービス (B型) 事業 開始
11年10月 1日	麻機園ケアプランサービス 開始
12年 4月 1日	介護保険事業 開始
12年10月 1日	静岡市有永グループホーム 受託開始
14年 3月31日	麻機園食事サービス事業 終了
15年 3月31日	麻機園入浴サービスセンター事業 終了
15年12月 1日	麻機園デイサービスセンター 利用定員変更
18年 3月31日	麻機園在宅介護支援センター 委託事業終了
18年 4月 1日	介護予防事業 開始
19年12月20日	麻機園デイサービスセンター 利用定員変更
20年 3月31日	静岡市有永グループホーム 指定管理業務終了
20年 8月31日	麻機園デイサービスセンター 営業日変更
22年 4月30日	麻機園デイサービスセンター 認知症対応型介護予防通所介護事業廃止
27年10月31日	麻機園デイサービスセンター 認知症対応型通所介護事業 休止
28年 3月 1日	麻機園デイサービスセンター 利用定員変更 (地域密着型) (定員18名)
28年12月31日	麻機園デイサービスセンター 認知症対応型通所介護事業 廃止
30年 4月 1日	新総合事業 (通所介護・訪問介護) 開始

施設の概要

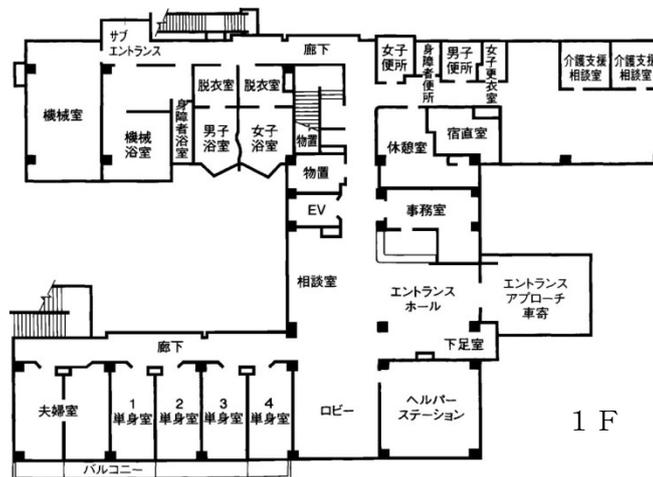
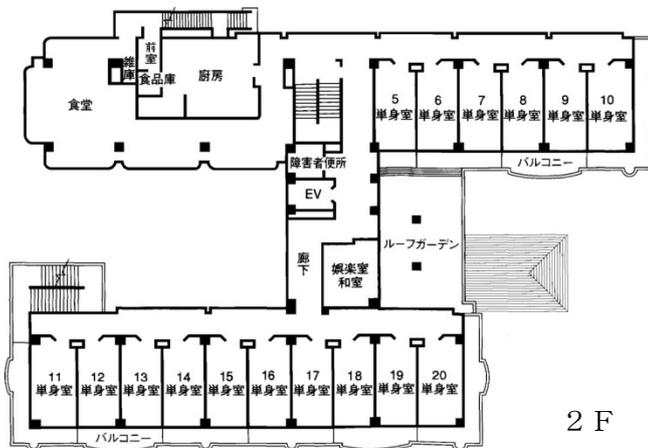
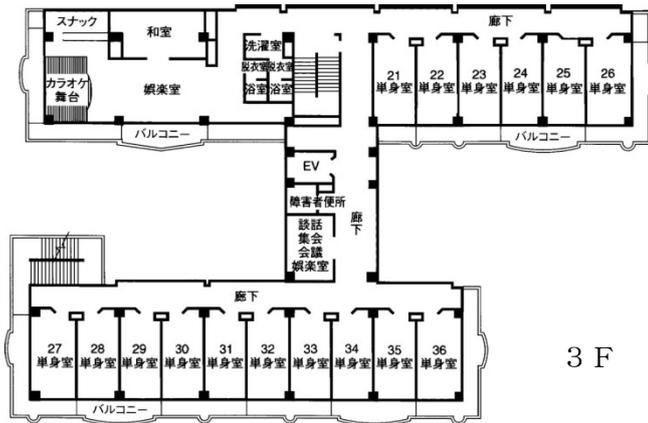
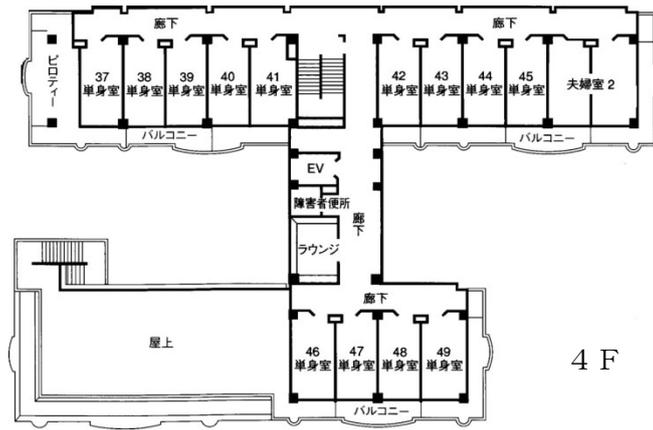
I. 特別養護老人ホーム 麻機園

1. 施設名称 麻機園 (あさはたえん)
2. 施設の種別 特別養護老人ホーム
3. 経営主体 社会福祉法人 東桜会
4. 所在地 静岡市葵区東527番地の1
TEL(054)247-8739 FAX(054)247-8640
5. 事業開始 昭和63年4月1日
6. 定員 80名 (介護老人福祉施設)
7. 併設事業 麻機園 (短期入所生活介護事業所) 20名
麻機園デイサービスセンター (地域密着型通所介護事業所) 18名/日
8. 構造 鉄筋コンクリート造 3階建
9. 敷地面積 8,322.20㎡
10. 建築面積 1,443.15㎡
11. 床面積 3,497.46㎡
 - 1階 1,148.40㎡
 - 2階 1,261.91㎡
 - 3階 1,087.15㎡

Ⅱ. ケアハウス桜花

1. 施設名称 ケアハウス桜花 (けあほうすおうか)
2. 施設の種別 軽費老人ホーム (ケアハウス)
3. 経営主体 社会福祉法人 東桜会
4. 所在地 静岡市葵区東532番地の4
TEL(054)247-6663 FAX(054)247-6671
5. 事業開始 平成9年4月1日
6. 定員 50名
7. 併設事業 麻機園ケアプランサービス (居宅介護支援事業所)
麻機園ヘルパーステーション (訪問介護事業所)
8. 構造 鉄筋コンクリート造 4階建
9. 敷地面積 3,020.58㎡
10. 建築面積 1,030.64㎡
11. 床面積 3,167.86㎡
 - 1階 915.85㎡
 - 2階 837.99㎡
 - 3階 804.96㎡
 - 4階 609.06㎡

12. ケアハウス桜花 平面図



《社会福祉法人東桜会の理念等》

〔法人の目的〕

私たちは、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として事業を行います。

〔施設運営理念〕

法人の目的を達成するため、公平で公正な開かれた施設運営を永続し、地域の拠点施設となるように努めるとともに地域福祉の向上に資するよう努めます。

〔施設運営方針〕

利用者の多様なニーズに応えられる職員を育成し、利用者が、生きがいを持ち明るく快適な生活ができる住環境の整備に努めます。

〔サービス提供理念〕

利用者一人ひとりのニーズと意思を尊重した質の高いサービスを提供し、利用者の生活の質の向上を目指すとともに、利用者の自立を目指し、利用者と共に生き、利用者の回復を目指します。

〔サービス提供方針〕

サービスの利用を希望する人たちが、利用者自らが受けられるサービスを選択し決定できる環境を作るとともに、利用者の残存能力を発見し、引き出し、活用ができるような環境を作ることに努めます。

令和3年度事業計画

(各職種の目標に対する実績記載付)

《社会福祉法人東桜会 令和3年度事業計画》

〔1〕基本方針

1. 法人・施設の中・長期計画の策定に取り掛かる。
2. 法人の理念、施設運営方針等について再確認し、表現方法等を検討する。
3. 働きやすい職場環境を目指し、職員の採用、定着に努める。
4. 地域に存する社会福祉法人として、地域の様々な団体組織・人々と連携して地域に貢献する。

〔2〕経営施設及び事業の種類

1. 指定を受けた介護保険事業（介護予防・日常生活支援総合事業を含む）を経営する
 - (1)介護老人福祉施設 麻機園
 - (2)短期入所生活介護事業 麻機園
 - (3)地域密着型通所介護事業 麻機園デイサービスセンター
 - (4)訪問介護事業 麻機園ヘルパーステーション
 - (5)居宅介護支援事業 麻機園ケアプランサービス
2. 社会福祉事業として次の事業を行う
 - (1)軽費老人ホーム ケアハウス桜花
3. 静岡市から委託を受けて次の事業を行う
 - (1)要支援、要介護認定の訪問調査を行う（麻機園ケアプランサービス）
 - (2)静岡市高齢者一時保護施設確保事業を行う（短期入所麻機園）
4. 地域包括支援センターから委託を受けて次の事業を行う
 - (1)介護予防プランの作成

〔3〕地域社会に貢献する取組み・地域交流等

麻機園に配置する職員を地域連携担当とし、法人が地域社会に貢献する取組みの業務を担わせる。新型コロナウイルス感染症に充分留意し、施設を開放した地域住民へのサービスや、地域の団体組織・人々と連携して地域に貢献し、福祉の向上を目指す。また、麻機小学校放課後こども教室実行委員会と連携するなどして、地域住民と子どもたちの活動の機会が持てるようにサポートする。

〔4〕評議員会、理事会の開催予定

- | | | |
|------------|-----|--|
| ①監事監査 | 5月 | 令和2年度事務事業及び決算の審査 |
| ②第1回理事会 | 5月 | 令和2年度事業報告、決算及び定時評議員会予定など |
| ③定時評議員会 | 6月 | 令和2年度決算認定 |
| ④監事監査 | 10月 | 令和3年度期中監査 |
| ⑤第3回理事会 | 10月 | 令和3年度補正予算、事務事業の報告等 |
| ⑥第1回臨時評議員会 | 10月 | 令和3年度補正予算承認 ※補正予算がある場合 |
| ⑦第4回理事会 | 12月 | 事務事業報告等 |
| ⑧第5回理事会 | 3月 | 令和3年度補正予算及び令和4年度事業計画、予算次期役員評議員候補者の選定など |
| ⑨第2回臨時評議員会 | 3月 | 令和3年度補正予算及び令和4年度事業計画、予算承認 |
- ※予算又は事業計画等に係る議題のあるときには臨時に理事会、評議員会を開催する。

〔5〕建物・設備の修繕・改修等の予定

麻機園及びケアハウス桜花の建物本体及び付属設備、設備・備品等の経年劣化の著しい箇所について大規模な修繕又は改修等を計画・予定するとともに、職員の業務軽減に資する設備・用具等の導入を検討する。

1. 特別養護老人ホーム麻機園

- ①受電設備改修修繕等
- ②空調設備更新修繕等
- ③電話設備更新
- ④厨房機器・設備更新
- ⑤ダムウエータ改修修繕
- ⑥居室網戸、フェンス等の改修取替
- ⑦業務の効率化・業務負担の軽減化の為、利用者の見守り機器やICTの導入を推進
- ⑧感染症対策に係る設備等の改善・導入

2. ケアハウス桜花

- ①外壁改修工事
- ②電話設備・課金装置、電気使用量等集中監視装置更新
- ③建物周辺地盤沈下への対応
- ④業務の効率化・業務負担の軽減化の為、ICTの導入を推進
- ⑤感染症対策に係る設備等の改善・導入

《特別養護老人ホーム麻機園》

〔1〕基本方針

1. 利用者ご家族の要望に的確に応えられるよう、各職種間の連携を密にする。
2. 利用者への生活援助者としてふさわしい職員になるよう資質の向上に務める。
3. 導入した介護記録システムに習熟し、情報共有等の効率化を図る。
4. 介護保険制度の定める条件を遵守して事業を行う。

〔2〕利用者処遇各職の目標

1. 相談員及び介護支援専門員

(目標1) 入所者がその人らしく安心して暮らせるような環境創りに努める。

- ・入所者の思いを聴く機会をつくる。

入所者の居室を訪室し個々に話をする機会をつくる。

行事等で入所者が集まる時に、要望等意見交換する機会を設け記録として残す。

→入所者と1対1でゆっくり話をして不安な事や要望等聞くように努めた。職員とゆっくり話をしたいという希望が多く、その機会を設けられたことがよかった。

入所者個々に話を聴いた時には、記録を残し他職種と情報を共有しカンファレンス等に役立てる。

→記録システムの活用で情報の共有ができカンファレンス等に役立てることができている。

感染予防対策をして入所者の楽しみである行事等を中止せずに内容を検討して開催できるようにする。

→食まつり等の園内での行事をはじめ、初詣や遊水桜花見等外出の行事も行うことができた。

- ・家族の希望、意向を伺う機会をつくる。

家族説明会を開催できない時は代わりとして個別に電話や書面等でサービスの変更やワクチン接種等の情報提供を行う。

→預り金報告に併せてサービスの変更やワクチン接種について情報提供を行えた。

電話連絡時や面会時等、家族の希望や意向を聴いた時には、記録を残す。

→面会時や電話等で家族と話す機会がある場合は入所者の様子を伝えながら希望、意向を聞くことができた。

- ・入所者の様子を家族へ報告する機会を増やす。

電話連絡時に入所者の様子を伝える。

→電話連絡時に日頃の様子を伝えるようにした。特変がない場合やその他の連絡事項がない場合は電話連絡することがなく様子を伝えられていない入所者がいる。

直接面会の制限中は、入所者、家族が安心できるようにワイヤレスインターフォンを使用した窓越しの面会を継続する。

→緊急事態宣言適用中を含め1年間窓越し面会を安全に行えた。

- ・入所者、家族の意向をもとに、その人らしく自立した生活を目指す介護計画を作成する。

→入所者、家族の意向をもとに計画作成しているが、情報収集、意向調査は改善の余地あり、より意向に沿った介護計画を作成したい。

- ・入所者が車椅子や靴、補助食器、付加食品等、必要としている物を検討し購入する。

→入所者個々に物品を検討し、購入、使用することができている。

(目標2) 職員研修を行う

- ・職員会議、介護職会議を利用し計画的に職員研修を行う。

- ・職員全員が参加できる開催方法とする
- ・職員の知りたいことを研修内容に組み込めるように、職員の意向を聞く機会を設ける。
→今年度初めてオンラインでの研修を行うことができた。多くの職員が参加することができ研修の理解度も高く、今後も継続したい。

(目標3) 入所率を98%以上に保つ。

- ・優先入所検討委員会を適宜開催する。
→年4回優先入所を開催した。コロナ禍で入所控えがあり昨年度より入所率が1%落ちた。
- ・入所申込者に「麻機園に入所したい」と思ってもらえるようにする。
施設見学ができない状況でも園内の明るい雰囲気や伝えられるような説明を行う。
申込者のニーズに合わせ、制度の説明や他サービスの説明を行えるようにする。
→入所見学ができない代わりにロビーで丁寧に説明することを心掛けた。また、特養以外の施設の紹介や、制度の紹介等入所に結びつかないケースでも対応するようにした。
- ・他特養相談員、老健相談員、ケアマネジャー等情報交換を行ない連携できるようにする。
→他施設との情報交換を行い連携に努めた。総合病院や老人病院からの紹介で入所に繋がるケースが増えている。

(目標4) 感染症対策を行う

- ・必要物品の検討、及び購入をする。
- ・消毒方法、防護服の着脱方法等の勉強会を開く。
→昨年度揃えた物品を実際使用することで検証し使いやすいものに変更することができた。

2. 介護職

(1階の目標)

- ・職員同士、入所者に対しても優しさを添え、思いやりや責任を持って仕事をする
→職員同士の言葉遣いがきつくなってしまうことがあった。また、時間を作って入所者と関わる事の出来る職員もいれば、余裕がなく自分の業務に精一杯な職員もいた。
- ・入所者に自分でできる事の喜びを感じてもらえるように援助する
→おしぼり巻きや洗濯物を畳んでもらい、毎日の日課として誰かの役に立ちたいと言い、積極的に取り組んでくれる方たちがいた。また、車椅子の自走や立位保持など自分の持っている残存機能を活かして貰えるような声掛けを心掛けた。
- ・手洗いがいのしやすい環境を整え、感染症を予防する
→各居室にペーパータオルを置き、いつでも手洗い出来る環境を整えた。今年度も感染症なく過ごしてもらうことができた。
- ・褥瘡の予防と改善に努める
→褥瘡のある方は洗浄と処置、定時の体位変換を行ったが、改善には至らなかった。新たに褥瘡が出来ることは無く予防する事ができた。
- ・1階職員同士、申し送りを確実に言い、統一した介護を行う
→重要な事は申し送りできたが、口頭での申し送りでは細かいことが伝えられていなかった。
- ・フロアの清潔を保ち、入所者の過ごしやすい環境を整える
→食堂や廊下、居室の床の清掃に努め、食堂の床も毎食後拭き、消毒をすることができた。

(2階の目標)

- ・優しい表情・口調・態度で接する

→時間帯や業務に追われていると優しく接する事が出来なかった。可能な限り職員を交代して対応していきたい。

- ・褥瘡の予防と早期改善

→臥床時間が増えた入所者には定時の体位変換し、皮膚状態や拘縮の変化について経過観察した。褥瘡が出来てしまった際には、すぐに対応策を考え実行した。看護師に処置をしてもらい改善に努めた。

- ・担当居室内の掃除・整理整頓

→各居室担当が主となり、掃除整理整頓を行ったが、職員によっては行えていない箇所もあった。

- ・担当居室内の書類管理を行う

→昨年度からパソコンでの記録が導入され、書類を扱う機会が減った。ケアプラン作成の期日が守れない職員がいた。

- ・離床後の布団の整理整頓、臥床後の衣類・車椅子・靴・膝掛け・カーテンを整える

→全体的に行えている職員が少なかった。

- ・報連相を徹底させ、統一した介護を行う

→申し送りのファイルを使用し、ある程度は情報共有することが出来た。しかし、口頭での申し送りだけにフロア全体での情報共有ができない事もあった。

- ・読み手が理解できる文章を書く

→当事者のみが理解できる文章となってしまう事が多々あった。他者が分かるような言葉を使用するように呼び掛けていく。

(3階の目標)

- ・離床をしたら布団をしっかりと畳み、入所者の身だしなみを整える

→起床時、離床時に布団を畳むことが出来ていた。リネンが汚れている事があり気が付いた職員が交換をしていたが、汚れたらすぐに交換し清潔を保つことが出来ていなかった。身だしなみに関して、衣類は整えられているように感じた。髪を梳かすのを入所者本人任せになってしまった。

- ・ゆっくりと話を聴き、優しい口調で話す

→入所者の行動に対し、口調が荒くなってしまう事が見られた。職員同士で注意をできるようにしていく。入所者が不安を訴える時にはその場で話を聞くことはできていたが個別に話す時間を設ける事が出来なかった。

- ・褥瘡の予防、早期改善に努める

→皮むけや褥瘡を発見した際は看護師とともに処置を行い早期改善に努めた。皮膚が赤くなりやすい方に対してはガーゼをあてて保護をするなどをした。

- ・フロア内を清潔に保ち、手洗いうがいを励行し、感染予防に努める

→職員、入所者ともに手洗いに注意し大きな流行風邪に罹る事はなかった。食後、食堂の清掃を行っているが、大きな汚れは取れるが床にこびり付いた汚れを落とす事が出来ていなかった。

- ・情報の共有、統一した介護を行う

→介護方法の変更などは申し送りノートの活用、朝礼での申し送りにより情報の共有を図ることができた。

- ・前年度より転倒事故や入所者の怪我等を一件でも減らすことに努める

→転倒により骨折する事故が3件あった。ADLの低下により歩行から車椅子使用に変更になった入所者がいる。また内出血による怪我が目立つため介護する際は十分に注意し入所者のADLの変化も見逃さないようにしていく。

3. 看護職

“安心して過ごせるように、健康面から援助する。”

(目標1) 感染予防と入所者の健康を維持するための看護対策。

- ・ 毎日の手洗い、うがい、建物の換気を実行するよう喚起し、感染予防に努め他職員にも啓発する。
→施設内では感染症が広がることなく、入所者の健康維持に努めることができた。
- ・ 入所者の健康管理の年間計画を立案し実施する。
→計画的に実施できた。

(目標2) 生活の延長上にある自然な看取りへの看護

- ・ その人らしく穏やかな時間を過ごせる様な環境を作り多職種と共に作っていく。
→看取りの方への看護は介護職と協力して行うことができた。

4. 機能訓練指導員

(目標1) 入所者の残存機能の維持・向上を目指し、安全な生活が送れるよう訓練する。

- ・ 個々の残存機能を把握し、多職種と情報交換を密に行ない、個々に適した目標を設定し機能訓練に努める。
→多職種と情報交換を行なうことでその方に合った目標を設定することができた。また目標に対しての個別機能訓練を行なえた。
- ・ 個々の目標に向け、週に2回以上の個別機能訓練を実施する。
→全員はできなかった。実施日を決め実施すべきだった。
- ・ 普段の生活の中で出来ることを増やし、その人らしく自立した日常生活の維持、向上に努める。また生活の場に即した動作の訓練を行なう。
→生活の場に即した個別機能訓練を行なえた。
- ・ 自立した生活の援助として、安全に移動が出来るよう歩行器を導入したい。
→導入できなかった。
- ・ 3ヶ月に一度、目標の評価・見直しを行ない入所者又は家族に進捗状況を説明する。
→できた。新型コロナウイルスの影響により家族に会う機会が減ってしまったが、入所者には進捗状況を伝え機能訓練に取り組んでもらえた。

(目標2) 楽しんで生活してもらるように援助する。

- ・ 集団機能訓練を1日1回30分間実施し、楽しさ、喜びを伴い、心身の健康や生活の質の向上に努める。
→できた。飽きがこないように工夫し、楽しんで運動ができることを考えながら実施できた。
- ・ 季節を感じてもらうため、毎月季節のカレンダーの塗り絵を行ない居室に掲示する。
→できた。
- ・ 行事に積極的に参加しコミュニケーションをとる。また日常の生活を楽しくしてもらえるように援助する。
→積極的に行事に関わることができた。

5. 栄養・給食

(目標1) 安全安心で満足感を味わえるような食事を提供する。

- ・ 旬の食材を取り入れ、季節を感じられる献立や料理を充実させる。
→季節を重視した献立を提供出来たと思う。行事食も喜んで頂けた。
- ・ 食べる会を毎月実施し、入所者の方々に喜んで頂ける食事を提供する。

→毎月食べる会を実施し、喜ばれた。

- ・嗜好調査を年1回実施し、献立に反映させる。
→出来た。献立に反映出来るものは取り入れた。
- ・衛生管理を徹底し、食中毒防止・感染症対策に努める。
→出来た。

(目標2) 栄養管理を徹底する。

- ・個々にあった栄養ケア計画書を作成し、定期的に見直しを行い、低栄養予防・改善を図る。
→栄養補助食品を併用、定期的な体重測定など、入所者の体重管理に力を入れた。
- ・食事摂取量が低下してきた方には、高カロリー食品を取り入れるなど対応していく。
→出来た。身体への負担を考え、高カロリー食へ切替るなどに努めた。
- ・食事介助やミールラウンドを行い、入所者の状態把握に努める。
→食事介助に中々入れなかったが、ミールラウンドを行い、状態把握に努めた。
- ・他職種と情報交換を密にし、利用者に適した食事サービスに努める。
→出来た。特に寮母と情報交換を密に出来た。

(目標3) 災害時の給食体制を検討する。

- ・災害対応給食マニュアルを整備する。
→出来なかった。
- ・備蓄食品の管理・見直しを行い、期限が近い食品は、献立に取り入れる。
→出来た。消費期限が近いものは、献立に取り入れた。

[3] 会議・研修

1. 会議の種類

(1) 全体

- ①職員会議 ②部門連絡会 ③在宅利用連絡会 ④厚生委員会 ⑤研修委員会
- ⑥広報委員会

(2) 麻機園

- ①優先入所検討委員会 ②介護職会議 ③リーダー会議 ④パート会議
- ⑤行事担当者会議 ⑥給食会議 ⑦安全委員会 ⑧衛生委員会 ⑨事故防止委員会
- ⑩感染症対策委員会 ⑪身体拘束廃止委員会 ⑫褥瘡予防委員会 ⑬食事委員会
- ⑭排泄委員会 ⑮入浴委員会 ⑯事故検討委員会 ⑰サービス検討会

2. 在宅部門を含めた全体会議を主催し職員相互の連携を計るとともに、定期的に部門毎、職種毎の会議を開く。
3. 委員会や担当者会議を開催し、利用者処遇の向上や、効率的な介護体制作りに努める。
4. 研修会、研究会、講習会等へWebによる参加の機会を増やし、資質の向上に努めるとともに、出席した職員の報告会を行う。

[4] 地域交流等

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から地域活動への自粛が続く中、感染予防対策を優先しつつ、時期や内容を検討しながら地域の団体組織・人々と連携し地域貢献活動を行い、福祉の向上を目指します。

- ・平成29年度から実施している施設を開放した地域住民へのサービス（さくらカフェ）はコロナ感染予防の為一時中止されているが、野外で行える介護予防体操等地域に出張して行う。

- 本年度に入ってもコロナ感染症拡大は収まらず、さくらカフェは再開できなかった。
- ・介護講座等の支援を行い介護予防活動のサポートをする。
 - 依頼がなく、又感染予防の為集まりを回避した。
- ・地域の催事や訓練へ参加し、地域とのつながりを深める。
- ・地域で行われている作品展に施設入所者の作品を出展参加する。
- 地域の催事や避難訓練は中止された。
- ・在宅高齢者の困り事や介護相談を受け必要に応じ地域資源や公的サービス等に繋げる。
- 介護相談を受け居宅介護支援事業所全体で対応した。又、ケアマネジャーと一緒にS型デイサービスに出向き、介護予防に関することや介護相談を受けた。
- ・ボランティア活動を通し得意なことを活かせるような生きがい支援策を行う。
 - 感染症予防の為施設でボランティアを積極的に受け入れることはできなかったが、地域の高齢者にサロンで楽器演奏をしてもらった。

〔5〕施設・設備

1. 建物及び付属設備等の老朽化に伴う必要な改修、修繕又は取替等を行う。
 - 受電設備の更新、空調設備の補修、網戸の取替、天井壁等内装の補修他
2. 感染症対策に係る設備の導入等により、利用者処遇向上のため必要な住環境整備を行う。
3. 什器設備の適切な維持管理を行う。
4. 様々なテクノロジーの活用に向けて情報を収集し、業務の効率化、業務負担の軽減を推進する。

〔6〕防災対策

1. 近年多発する土砂災害や水害等に対する備えを充実するために、自然災害に対する職員の防災知識を向上させると共に訓練を行い、避難方法等の検討、必要な備品等の整備を行う。
2. 地震、火災時に備え、職員の防災に対する知識を向上させると共に、定期的に訓練を行い、設備の使用法の修得、避難誘導技術の向上を目指す。
3. 災害時のマニュアルの見直し及び体制を整備する。

〔7〕感染症対策

1. 新型コロナウイルス感染症に関する様々な情報を収集するとともに、感染症対策用品や備品設備の整備を推し進める。
2. 感染症に関連する通知や制度の変更に関する情報の収集に努め、施設事業の経営に反映する。
3. 年間を通じて感染症に対する注意を払い、情報の収集に努めると共に、職員の感染症対策に対する知識を向上させるために研修・実習を行う。

《ケアハウス桜花》

〔1〕基本方針

安心して楽しく生きがいのある生活が送れるよう支援する。

〔2〕運営

(目標1) 安定した入居率の運営を目指す。

- ・年間入居率95%以上を目指し稼働率の向上に努める。
→入居率91%、前年比と同じ結果で伸ばすことができなかった。
- ・居宅介護支援事業所をはじめ、地域包括支援センター、医療機関等の地域連携室等へ訪問し施設の紹介、空き状況など情報提供と営業活動を行う。
→事業所訪問はできなかったがケアマネや地域包括職員が訪問した際に空き状況を提供した。
- ・地域連携担当と協働し、町内会、民生委員など地域に施設を知ってもらう機会を設ける。
→感染症の影響もあり地域に向けての活動ができなかった。

(目標2) 高齢者の特性に配慮した環境を整備する。

- ・施設出入口の段差解消など必要な施設内外の修繕を行い、安全に暮らせる環境を整える。
→外壁工事中である。今後も引き続き必要な修繕を行っていく。

(目標3) 相談機能を充実させる。

- ・入居者からの相談に傾聴し、安心な生活が送れるように努める。
→入居者からの相談に傾聴し解決できるよう努めた。
- ・地域住民や事業所などが相談しやすい環境を備える。
→地域住民に向けての活動はできなかった。
- ・入居相談に対して「この施設に入居してみたい」との印象がもてるような接客を心がける。
→入居相談、施設案内時に丁寧な接客と説明を心がけた。

〔3〕入居者処遇

(目標1) 健康で可能な限り自立した生活の場づくりをめざす。

- ・年に1回の健康診査、結核健康診断など受診できるよう情報提供し診断結果を把握する。
→健康診断受診を勧め結果を報告してもらっている。
- ・服薬内容の把握、かかりつけ医との連携、適切な助言をして疾病予防に努める。
→かかりつけ医と連携し情報提供を行った。
- ・必要に応じた介護保険サービスや施設サービスを提案し円滑に利用できるように支援する。
→入居者の身体状況を把握しケアマネと連携しながらサービスが利用できるよう支援できた。
- ・感染症、疾病の早期予防に努める。
→感染症にかからないように注意喚起している。
- ・入居者の健康、生活上の相談をしやすい環境を作る。
→入居者からの相談には常に傾聴している。
- ・家族面会時など、入居者の近況の生活状況を報告し信頼関係を構築する。
→感染症まん延防止のため面会は制限しているが生活状況は家族に報告している。

(目標2) 残存機能の維持と余暇活動の援助を行う。

- ・ボランティアや地域住民を受け入れ、地域とのコミュニケーションの機会を作る。
→ボランティア等外部からの受け入れがなかった。
- ・「にじサロン」を継続的に開催し、体操や脳トレなどで機能低下を予防する。
また必要な物品を購入して工夫のある余暇活動を開催する。
→にじサロンは定期的で開催しているが内容に工夫が必要である。
- ・感染症対策を講じた上で、喫茶の開催など毎月1回以上季節感のある行事を企画し入居者間の交流の機会を設ける。
→季節を感じられる内容の喫茶を開催できた。
- ・地域で行われる祭りやイベントなどの情報を、入居者に向けて掲示、月刊紙で提供する。

→地域のイベントが開催されなかったが、今後も情報提供していく。

〔4〕栄養・給食

（目標1）快適な食環境づくりに努め、安全で楽しみのもてる食事を提供する。

- ・入居者の多様化するニーズに応えられるよう、多職種との連携を密にし、工夫や配慮を加え、心のこもった食事を提供する。
→実施できた。引続き、多職種との連携を密にし入居者のニーズに応じていきたい。
- ・選択食や行事食等は季節感のある食材を取り入れ、入居者が期待感をもてる食事を提供する。
→実施できた。選択食や行事食のより一層の充実を図り、食事を楽しんでもらえるよう努力する。
- ・年4回程度、食事会を行い普段と違った雰囲気の中での食事時間を楽しんでもらう。
→実施できなかった。楽しみにしている入居者もいるので、ソーシャルディスタンスを守り開催していきたい。
- ・安全安心な食事提供のため、委託業者との情報交換・相互の提案を含めた連携を徹底する。
→大量調理マニュアルに沿って衛生管理が行えており、衛生管理書類もきちんと整備されている。事故もなく安全な食事を提供出来た。
- ・季節の植物等を置くなどして季節の流れが感じ取れる空間を演出する。
→実施出来た。季節の植物だけではなく、入居者の作品からも季節の流れを感じることが出来、継続していきたい。

（目標2）健康維持できるよう、多職種との連携を図り食生活の充実を図る。

- ・健康診断結果を基に栄養状態を把握し、食事面からの健康維持・増進を図る
→健康診断結果を基に助言することは出来た。
- ・ポスター等の掲示物を活用し、入居者への健康・栄養に関する知識の普及に努める。
→実施できた。
- ・日々の連絡や会議等を利用して情報の交換・共有を徹底する。
→概ね出来た。情報の共有をさらに徹底し、個々にあった食事を提供していきたい。

（目標3）災害時の給食体制を強化する。

- ・災害時給食マニュアルを作成する。
→出来なかった。
- ・備蓄食品の整備・点検を行う。
→概ね出来たが、形態に見直しが必要と感ずるため引続き整備していきたい。

〔5〕会議・研修

1. 在宅部門と連携を計り、入居者に関するサービス担当者会議等に参加する。
2. 職員の資質向上のため外部研修に参加する。
3. 入居者処遇、行事会議、給食等に関して会議を開催する。

（会議の種類） ①桜花会議 ②入居者処遇会議 ③給食会議

〔6〕施設設備

適切な建物・設備等の保守及び修繕を行い、安全で住みよい環境を整える。

- 正面玄関インターロッキング、裏玄関段差の修繕を行いたい。
- 外壁工事中のため、今後の修繕に組み込みたい。

〔7〕防災対策

1. 地震、火災など災害に備え、職員の防災知識、技術の向上をめざす。
→職員向けの防災教育に力を入れたい。
2. 入居者向けに土砂災害など風水害の危険を周知する防災教育を行う。
3. 公助、共助をめざし消防、地域、隣接施設等との協力体制を築いていく。
→地域との共助は今後も課題である。
4. 年2回、夜間発生の大規模地震および火災を想定した避難訓練を実施する。
5. 備蓄品（非常用食品、防災用物品など）を購入したい。

〔8〕感染症対策

1. 施設内の消毒、換気など感染症予防を徹底する。
→定時の換気を行い入居者にも呼びかけている。
2. 研修等で感染症対策に対する知識を高めるよう努める。
3. 入居者に対して情報提供すると共に、感染症対策に対する知識を向上させる。
→掲示物や口頭で感染症予防対策の呼びかけをしている。

《在宅サービス》

〔1〕麻機園ショートステイ

（目標1）年間を通して稼働率75%を目指す

→稼働率は下がり53%程だった。（前年度63%）

- ・ケアマネジャーへ空床情報を提供することにより稼働率の向上を目指す。

（目標2）よりよいサービスを提供する。

- ・本人、家族の意向、身体状況について他職種との情報を共有することにより、よいサービスが提供できるようにする。
- ・新規利用時は多くの情報を収集し、本人、家族、ケアマネジャーの意向に沿ったサービスが提供できるようにする。
- ・利用前の本人の身体状態の情報を収集し、前回利用の状況にかかわらず適切なサービスが提供できるようにする。
- ・利用中の状態変化時等は、家族及びケアマネジャーに迅速かつ的確に情報の提供を行い、対応する。
→概ねできた。

（目標3）感染症対策が確実にでき影響を最小限にとどめることができる。

- ・施設内に感染症を持ち込まない、外部に持ち出さないように、利用前の本人及び家族の健康状態をより詳しく収集し、また本人、送迎車両の消毒を行う等感染対策を徹底する。
- ・感染症流行時は家族、ケアマネジャーとも施設の見学、居室での面会が難しい為、写真等を使っての情報提供を行い利用中の生活イメージを持ちやすいようにする。
- ・施設内で感染症が発生した場合は、家族、ケアマネジャー等に情報を提供し、本人、家族、他事業所等が不安なく生活が継続できるようにする。
→利用前の情報収集、感染対策を行いコロナウイルス等の感染者は職員、利用者ともなかった。

（目標4）緊急利用にもできる限り対応する。

- ・介護者の急変等で急にショート利用の要請がある時には、ケアマネジャーと連携して情報収集して受け入れる。

→本人、介護者の急変等切迫性の高い人は受け入れた。 緊急短期6名

(目標5) ショートの長期利用希望にも可能な限り対応する。

・施設入所を希望し、病院退院後自宅に帰るのが難しく、施設入所までに時間がかかる場合等は、利用者家族の希望に応え施設入所までの家族の負担を軽減するように努める。

→相談があった場合は内容を精査しそのままロングショート可能な人については対応した。新規8名。

[2] 麻機園デイサービスセンター

(目標1) 平均利用者数12人をめざす

→「平均利用者12人をめざす」と掲げていたが、平均利用者数は8.1人で目標を下回った。新規利用者が少なく、営業活動が出来ていないことや、施設入所により終了になってしまったことが主な理由だと思われる。また、問い合わせがあり利用見学をしても新規利用につながらないこともあった。

・居宅介護支援事業所を訪問し、新規利用者の紹介を依頼していきます。

パンフレットや写真パネルを活用し、特色をアピールします

→パンフレットの作製は出来たが有効活用することが出来なかった。

・介護支援専門員と信頼関係を築けるように、こまめに利用者の様子やサービスの利用状況を電話や書面にて報告します。

→書面での報告は出来なかったが、状態変化等があった場合は都度、介護支援専門員に報告はできた。

・バーチャルインデックスや長谷川式等のアセスメント指標を取り入れ、利用者の状態についての理解を深め、利用者一人ひとりに合わせた支援ができるようにしていきます。

→アセスメント指標の使用は出来なかったが、利用者の状態を把握し一人ひとりに合わせた支援ができた。

・リカンベントバイクの記録表を活用するなど、体操やレクリエーションに取り組んだ成果を利用者が実感し、意欲が増すように支援します

→毎日の体操や機能訓練は行っていたがリカンベントバイクの使用はできなかった。

[3] 麻機園ヘルパーステーション

(目標1) 住み慣れた家で安心して生活ができるよう支援する。

・利用者が何を望んでいるか想像し、利用者の気持ちに寄り添う。

→利用者の習慣や行動を観察し、できることは促しながら励まし、辛いと思うことを傾聴することに努めた。

・活動記録票にその日の様子を明記し、利用者家族に様子を伝える。

→記録票に細かく記入することで、家族も読み連絡のやり取りができ、様子を知らせることができた。

・感染予防の徹底（感染しない・うつさない）

→検温・手洗い・消毒等に努め、利用者にもできる限り訪問中マスク着用を求めた。

・職員の知識・技術向上の機会を持ち、ニーズに的確に対応できるようにする。

→空き時間に対応方法を話し合う機会や月1回のミーティングで資料を基に研修を行った。

(目標2) 利用者・稼働率をあげる。

・利用者35人、毎月稼働率60%を目指す。

→利用者30人弱、稼働率50%前後で経過。利用回数の多い方の施設入所や入院等で、安定しなかった。

- ・居宅介護支援事業所への報告（情報・対応）は的確・迅速に行い連携を図る。

→情報はその日のうちに連絡し、対応も利用者に確認しながら提案等も行い増回やサービスの見直しに繋ぐことができた。

- ・地域の方に知ってもらえる場に参加する。

→新型コロナウイルス感染症の流行期であり、外の場に出向くことがなかった。

[4] 麻機園ケアプランサービス

(目標1) 新しい法改正に向けて情報収集し、システムの見直しを行う。

- ・今後AIの導入や書面のデジタル化が進んでいくと言われている中で、それに対応しうるスキルを身につけることができる。

→まだ移行中のため令和3年度はAIの導入やデジタル化をしていないが、リモートで研修を受けることをそれぞれ行いスキルを身につけた。

(目標2) 感染予防に努めながら医療や多職種との連携方法を工夫し、インフォーマルサービスも活用しながら利用者の自立支援を図ることができる。

- ・検温、消毒等感染予防を徹底する。

→検温、消毒を行い感染予防を行うことができた。

- ・利用者の多様なニーズに対応できるように自己研摩に努め、幅広い知識をもつ。

→毎週事例検討を行ったり、月1回は勉強会を開いたり研修に参加したりして知識の向上に努めることができた。

- ・利用者および家族の本音を聞き出せるような関係作りに努める。

→利用者や家族に寄り添えるよう日頃から相談に乗り、困っている時は迅速に安心してもらえるような対応を心掛けた。

- ・利用者の思いが達成できるようなサービス計画を作成する。

→利用者との信頼関係を築くことで本音で話をしてもらい、本人の思いを目標にできるようなプラン作りに努めた。

- ・医療や他職種との連携を密にし、情報を共有する。

→医療連携は迅速に行うことができた。その後相談員と連絡を密にして、退院支援を行うことができた。

- ・インフォーマルサービスの活用をより一層重視しサービス計画を作成する。

→コロナ渦でなかなかインフォーマルサービスが少なかったため活用が思うようにできなかった。民生委員や家族の支援は意識することができた。

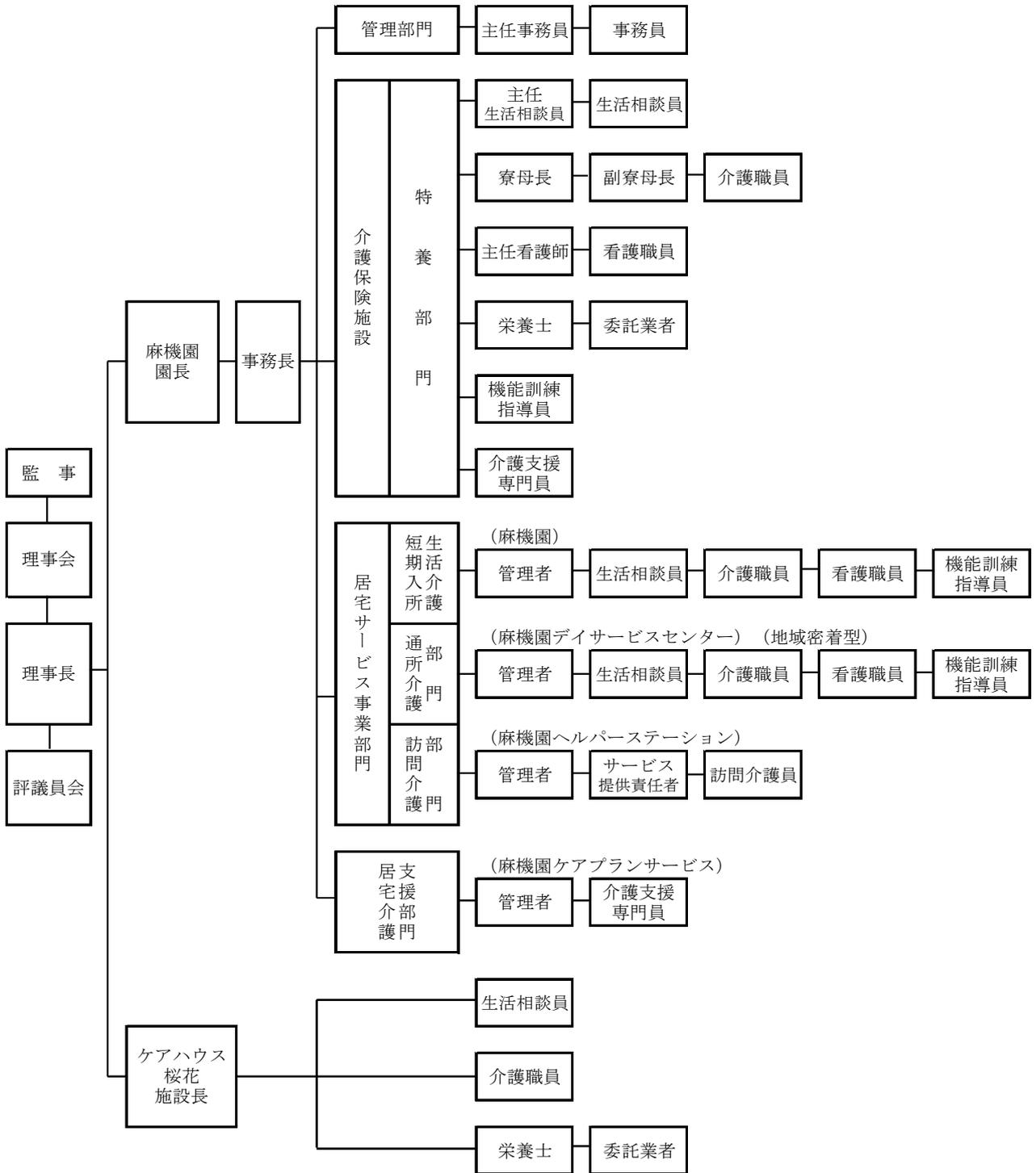
事業の状況

I. 社会福祉法人東桜会

〔1〕 法人の経営施設及び事業

		社会福祉法による分類	介護保険法による分類
凡例		上段 : 種別	上段 : サービスの種類
		下段 : 施設又は事業所名	下段 : 事業所名
第一種	1	特別養護老人ホーム	介護老人福祉施設
		麻機園	麻機園
	2	軽費老人ホーム	
		ケアハウス桜花	
第二種	3	老人デイサービス事業	地域密着型通所介護 第1号事業【通所介護相当サービス】
		麻機園デイサービスセンター	麻機園デイサービスセンター
	4	老人短期入所事業	短期入所生活介護 介護予防短期入所生活介護
		麻機園	麻機園
	5	老人居宅介護等事業	訪問介護 第1号事業【訪問介護相当サービス】
		麻機園ヘルパーステーション	麻機園ヘルパーステーション
公益事業	6		居宅介護支援
			麻機園ケアプランサービス

[2] 組織図



〔3〕 職員の状況

1. 所属別職員数(令和4年3月31日)

	麻機園	桜花	デイサービス センター	ヘルパー ステーション	ケアプラン サービス	計
施設長 (管理者)	1	1	〈1〉	〈1〉	〈1〉	2
事務員	2					2
生活相談員	3 〈2〉	1	2 (1)〈2〉			6(1)
看護職	6 (2)〈2〉		2 (1)〈3〉			8(3)
機能訓練 指導員	1		2 〈2〉			3
介護職	39 (19)	2	2 (2)〈1〉			43(21)
栄養士	1	1				2
ホームヘルパー				5 (3)〈1〉		5(3)
支援専門員	2 〈2〉				3 〈1〉	5
その他	7(7)	4(4)				11(11)
医師	1(1)					1(1)
合計	63(29)	9(4)	8(4)	5(3)	3	88(40)

※ () 内は非常勤で再掲、〈 >内は兼任

2. 職員の資格(令和4年3月31日)

介護福祉士	38	介護支援専門員	13	認知症介護実践 (実践者) 研修終了	8
社会福祉士	2	介護職員初任者 研修終了	17	認知症対応型サービス 事業管理者研修終了	3
社会福祉主事任用	17	介護福祉士養成実習 施設指導者研修終了	6	認知症介護指導者 養成研修終了	1

〔4〕役員会・評議員会等の開催状況

《監事監査》

1. 日 時 令和3年5月19日(木) 午前9時から午後3時
2. 場 所 静岡市葵区東527-1 特別養護老人ホーム麻機園 2階会議室
3. 出席監事 永野 守 望月敏弘
4. 出席理事等 長谷川達也 秋山 通 長島鈴江 海野隆由 塩沢水尾子 小野田武留 佐藤勝洋

《監事定期監査》

1. 日 時 令和3年11月4日(水) 午前10時から午後0時30分
2. 場 所 静岡市葵区東527-1 特別養護老人ホーム麻機園 2階会議室
3. 出席監事 永野 守 望月敏弘
4. 出席職員等 秋山 通 長島鈴江 塩沢水尾子 小野田武留 海野隆由 佐藤勝洋

《第1回理事会》

1. 日 時 令和3年5月26日(水) 午後2時から午後3時10分
2. 場 所 静岡市葵区東527-1 特別養護老人ホーム麻機園 2階会議室
3. 出席理事 9名
長谷川達也 秋山 通 伊藤 靖 良知克彦 長島鈴江
佐藤勝洋 海野隆由 小塚 博 杉浦 徹
4. 欠席理事 鈴木政夫
5. 出席監事 永野 守 望月敏弘
6. 議事

【決議事項】

- 第1号議案 令和2年度事業報告(案)について
- 第2号議案 令和2年度会計決算(案)及び監事監査報告について
- 第3号議案 令和3年6月からの役員候補者(案)について
- 第4号議案 令和3年6月からの評議員候補者(案)について
- 第5号議案 評議員選任・解任委員の選任及び評議員選任・解任委員会の開催について
- 第6号議案 令和3年度定時評議員会の日時、場所及び目的である事項等について

【報告事項】

- 第1号 理事長及び副理事長の業務執行状況について
その他 今後の予定について

《第2回評議員選任・解任委員会》

1. 開催日時 令和3年6月17日(木) 午後1時から午後1時45分
2. 開催場所 静岡市葵区東527-1 特別養護老人ホーム麻機園 2階会議室
3. 内 容
令和3年6月からの評議員候補者の選任の可否について検討

《定時評議員会(通算第5回)》

1. 開催日時 令和3年6月17日(木) 午後2時から午後3時
2. 開催場所 静岡市葵区東527-1 特別養護老人ホーム麻機園 3階
3. 評議員数 11名
4. 出席評議員 岡田善雄 山田 誠 織田升美 海野孝子 平井哲男
 帯金 武 深井千恵子 田村みね子 船城秀樹 伊藤秋一郎
 飯田道隆
5. 出席理事 長谷川達也 秋山 通 伊藤 靖 良知克彦 長島鈴江
 佐藤勝洋 海野隆由 小塚 博 杉浦 徹
6. 欠席理事 鈴木政夫
7. 出席監事 望月敏弘
8. 欠席理事 永野 守
9. 審議事項
 - 第1号議案
 1. 令和2年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認の件
 2. 令和2年度事業報告の件
 3. 監事監査報告の件
 - 第2号議案 理事及び監事の選任の件

《第2回理事会》

1. 開催日時 令和3年6月17日(木) 午後3時10分から午後3時25分
2. 開催場所 静岡市葵区東527-1 特別養護老人ホーム麻機園 2階会議室
3. 理事総数 10名
4. 出席理事 長谷川達也 秋山 通 伊藤 靖 良知克彦 長島鈴江
 佐藤勝洋 海野隆由 小塚 博 杉浦 徹 望月利孝
5. 出席監事 望月敏弘
6. 欠席監事 永野 守
7. 議事

【決議事項】

- 第1号議案 理事長の互選に関する件
- 第2号議案 副理事長の互選に関する件

《第3回理事会》

1. 開催年月日 令和3年11月4日(木) 午後2時から午後3時30分
2. 開催場所 静岡市葵区東527-1 特別養護老人ホーム麻機園 2階会議室
3. 理事総数 10名
4. 出席理事 長谷川達也 秋山 通 伊藤 靖 良知克彦 長島鈴江
 佐藤勝洋 海野隆由 小塚 博 杉浦 徹 望月利孝
5. 出席監事 永野 守 望月敏弘
6. 議事

【決議事項】

- 第1号議案 給与・退職金規程の改正（案）について

- 第2号議案 育児・介護休業等に関する規程の制定（案）について
- 第3号議案 就業規則の改正（案）について
- 第4号議案 準職員就業規定の改正（案）について
- 第5号議案 ケアハウス桜花の外壁改修工事及び自動火災報知設備の更新について
- 第6号議案 麻機園の受電設備等改修工事について

【報告事項】

- 第1号 理事長及び副理事長の業務執行状況について
 - (1) 麻機園介護分野ICT化等事業補助金事業の実施について
 - (2) 東桜会令和3年度半期の事業の状況について
 - (3) 事業所の年末年始の営業について
- 第2号 監事の定期監査報告

《第4回理事会》

- 1. 開催年月日 令和4年3月9日 午後2時
- 2. 場 所 静岡市葵区東527-1 特別養護老人ホーム麻機園 2階会議室
- 3. 理事総数 10名
- 4. 出席理事 長谷川達也 秋山 通 伊藤 靖 良知克彦 長島鈴江
佐藤勝洋 海野隆由 小塚 博 杉浦 徹 望月利孝
- 5. 出席監事 永野 守 望月敏弘
- 6. 議事

【決議事項】

- 第1号議案 令和3年度補正予算（案）について
- 第2号議案 令和4年度事業計画（案）及び予算（案）について
- 第3号議案 令和3年度第1回臨時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
- 第4号議案 給与・退職金規程の改正（案）について
- 第5号議案 庶務規程の改正（案）について
- 第6号議案 施設職員の人事について

【報告事項】

- 第1号 理事長及び副理事長の業務執行状況について
 - (1) 麻機園介護分野ICT化等事業補助金事業の実施について
 - (2) ケアハウス桜花の外壁改修工事について
- 第2号 静岡税務署の立入調査の結果について
- 第3号 静岡市指導監査の結果について
- 第4号 第3回理事会における質問事項及び修正事項について
 - (1) 育児・介護休業中の助成制度について
 - (2) 規程の名称について（準職員就業規程）第5号議案 施設職員の人事について

《第1回 臨時評議員会》

- 1. 開催年月日 令和4年3月24日(木) 午後2時から午後2時40分
- 2. 場 所 静岡市葵区東527-1 特別養護老人ホーム麻機園 2階会議室
- 3. 出席評議員 12名全員

岡田善雄 山田 誠 平井哲男 帯金 武 深井千恵子
 田村みね子 伊藤秋一郎 飯田道隆 船城秀樹 池田祐治
 繁田 修 望月公二
 4. 出席理事 長谷川達也 秋山 通

5. 審議事項

- 第1号議案 令和3年度補正予算承認の件
 第2号議案 令和4年度事業計画及び予算承認の件

〔5〕財務規律の確立に向けた取組

公認会計士の活用

会計士の氏名	回 数	活用状況
河俣会計事務所 河俣貴之	11回	毎月1回、決算時期1回来所

〔6〕低所得者に対する社会福祉法人利用者負担軽減制度

実施状況

	区 分	延人数	軽減総額
1	特別養護老人ホーム麻機園	127人	1,702,968円
2	麻機園（ショートステイ）	20人	265,890円

〔7〕地域社会への貢献

1. 相談受付件数

区 分	男	女	計
件 数	3	8	11

2. 地域貢献訪問活動

	開催日	訪問先・団体等名称	内容
1	11月11日	羽高団地S型デイサービス	ケアマネージャーと訪問し介護保険説明、相談
2	12月 8日	北団地S型デイサービス	介護予防支援
3	12月14日	南奥サロン	地域サロン支援
4	1月11日	南奥サロン	麻機園ケアマネ紹介、地域サロン支援、楽器演奏紹介
5	1月13日	羽高団地S型デイサービス	介護予防支援・ケアマネージャーと訪問し介護相談

II 特別養護老人ホーム麻機園

〔1〕行事等

1. 日課の概要

時間	入所者	職員
6:00	起床	顔拭き
6:30	お知らせ放送	日課放送
7:30	朝食	食事介助
8:30	ラジオ体操	朝礼
8:45		排泄介助
9:15	入浴	申し送り
9:30	水分補給	入浴介助 一般浴(火・金)～11:30 機械浴(月・木)～11:30 チェアバス(水・土)～11:30
10:00	午前の活動レクリエーション (習字クラブ・園芸クラブ)	
12:00	昼食	食事介助
13:15	ティールームさくらんぼ(毎火)	排泄介助・上半身清拭
14:00	入浴	入浴介助 一般浴(火・金)～15:30 機械浴(月・木)～15:35 チェアバス(水・土)～15:35
15:00	レクリエーション(3階)	おやつ介助・水分補給
15:30		
15:45	おやつ	排泄介助
16:30	さくらんぼの会(移動売店)	申し送り
17:00	機能訓練(1・2階)	
17:30		食事介助
18:00		口腔ケア
19:00	夕食	排泄介助
20:00		検温・与薬
21:00	服薬	戸締まり
22:00	消灯・就寝	巡視・水分補給
23:00		巡視・排泄介助・体位交換
0:00		巡視・体位交換
		巡視・体位交換
4:30		排泄介助
5:00		検温

出勤 7:00

↑

出勤 9:30

↑

休憩 11:30-12:30

↓

10:00 退勤

↓

休憩 12:00-14:30
の間に1時間

↓

16:00 退勤

↓

18:30 退勤

↑

出勤 17:00

↑

仮眠
22:00-0:00
23:30-1:30
0:30-2:30
2:00-4:00

2. 月別行事

月	行事・活動内容
3年 4月	・開園記念日・花見
5月	・変わり湯(菖蒲湯)
6月	・なめらか食の食べる会(デザートプレート)
7月	・七夕
8月	・物故者の冥福を祈る会 ・流しそうめんを食べる会 ・変わり湯(ミント浴)
9月	・敬老会 ・BBQを楽しむ会
10月	・運動会 ・レクリエーション大会 ・麻機園秋の食まつり
11月	・夜間防災訓練
12月	・忘年会 ・変わり湯(ゆず湯)
4年 1月	・新春の集い ・書初め ・初詣
2月	・節分 ・変わり湯(保湿、保温)
3月	・なめらか食を食べる会(イチゴと甘酒のハシバロア)

3. 定期的に行なう行事

(1) ティールーム さくらんぼ (火曜日)

月	回数	提供内容	参加人数(短期)
3年 4月	4回	コーヒー・紅茶等・ケーキ・どら焼き・ドーナツ	81名(2名)
5月	4回	コーヒー・紅茶等・ロールケーキ・たい焼き・シュークリーム	80名(4名)
6月	5回	コーヒー・紅茶等・今川焼き・抹茶カステラ・ワッフル・アイス	104名(0名)
7月	4回	コーヒー・紅茶等・かき氷・今川焼き・シュークリーム	89名(0名)
8月	5回	コーヒー・紅茶等・ケーキ・アイス・心太・かき氷・今川焼き	108名(0名)
9月	4回	コーヒー・紅茶等・ケーキ・シュークリーム・ドーナツ・月見	82名(0名)
10月	4回	コーヒー・紅茶等・ケーキ・富士の名月・おしるこ	80名(0名)
11月	4回	コーヒー・紅茶等・焼き芋・塩大福仕立て・今川焼	81名(0名)
12月	3回	コーヒー・紅茶等・ドーナツ・たい焼き・クリスマスケーキ	66名(0名)
4年 1月	4回	コーヒー・紅茶等・紅白饅頭・あんまん・クリームサンド	85名(0名)
2月	4回	コーヒー・紅茶等・ケーキ・ティラミス・ホットケーキ・どら焼き	87名(0名)
3月	5回	コーヒー・紅茶等・ケーキ・おしるこ・シュークリーム・桜餅	101名(0名)
延実施回数	50回	延参加人数	1,044名(6名)

(2) その他

行事名等	実施頻度・日程
さくらんぼの会(園内売店)	月曜日～土曜日
誕生者のお好み食	誕生月(該当者)

入所者健康診断	令和3年5月17日～5月20日 ・令和3年10月18日～10月21日
職員健康診断	令和3年6月 3日～7月 1日 ・令和3年10月 1日～10月15日

4. クラブ活動

(1) 習字クラブ (第1、第3木曜日)

月	実施回数	人数(短期)	月	実施回数	人数(短期)
3年 4月	1回	13名(1名)	10月	中止	
5月	1回	12名(1名)	11月	2回	26名(1名)
6月	中止		12月	2回	24名(8名)
7月	1回	14名(1名)	4年 1月	1回	14名(2名)
8月	2回	26名(5名)	2月	中止	
9月	中止		3月	中止	
延参加人数					129名(19名)

(2) 園芸クラブ

月	内 容	参加延人数
3年 4月	顔合わせ	6名
5月	きゅうりの苗植え	6名
6月	コケ玉作り・きゅうりの収穫	12名
7月	かいわれ大根の種まき・かいわれ大根の収穫	12名
8月	塗り絵	6名
9月	じゃがいもの種芋植え	6名
10月	生け花	5名
11月	じゃがいもの収穫	5名
12月	正月用生け花	4名
4年 1月	季節の塗り絵	4名
2月	中止	
3月	反省会	5名
延参加人数		71名

5. その他随時

名 称 等	内 容 等
レクリエーション(寮母)	園外散歩、体操、輪投げ、歌、紙芝居等

〔2〕 ボランティア

1. グループ (敬称略・順不同)

グループ名	内容	訪問回数	延人数
桜筆会	ペン習字	3回	3名

2. 個人 (敬称略)

名前	訪問回数
石山久男	10回

3. 実習・体験学習

日程	実習等委託先・名称	人数
8月5日～8月6日	静岡女子高等学校福祉科「介護実習Ⅰ」	2名(延4名)
10月5日～12月9日	常葉大学 看護学部「老年看護学実習Ⅱ」	9名(延63名)
10月19日～12月15日	静岡女子高等学校 福祉科「介護実習Ⅱ」	1名(延15名)
11月10日～11月16日	静岡女子高等学校 福祉科「介護実習Ⅰ」	2名(延10名)
計		14名(延92名)

〔3〕 会議等

内容	開催・実施状況等
会議(月例)	職員会議・部門連絡会・給食会議・在宅利用連絡会・介護職会議・パート職会議 行事会議・リーダー会議・衛生委員会
会議(随時)	ヒヤリハット検討会・優先入所検討委員会・苦情解決会議・ショート会議 チューター会議
委員会(隔月)	褥瘡対策委員会・身体拘束廃止委員会・感染症対策委員会・事故防止委員会
苦情解決会議	令和3年7月20日
優先入所検討委員会	令和3年5月11日、令和3年7月20日、令和3年10月13日
夜間消防訓練	令和3年11月26日、令和4年3月29日
土砂災害に対する防災訓練	令和3年7月2日
監査等	静岡市指導監査 令和3年12月2日(書面監査)

〔4〕 入所者の状況

1. 年齢及び入所期間別入所者数（3月末日現在の入居者）

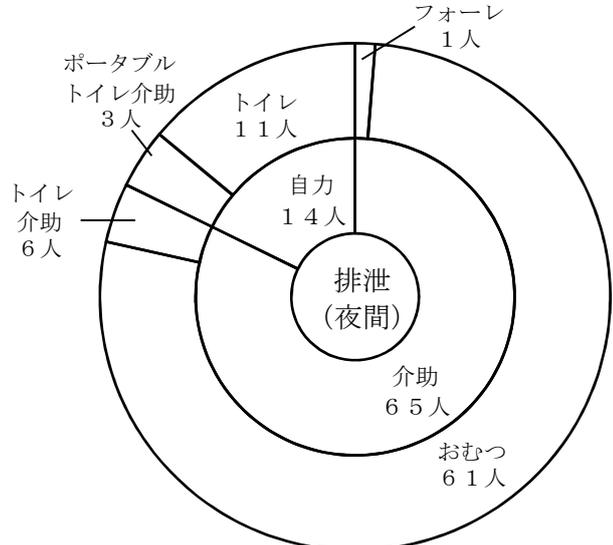
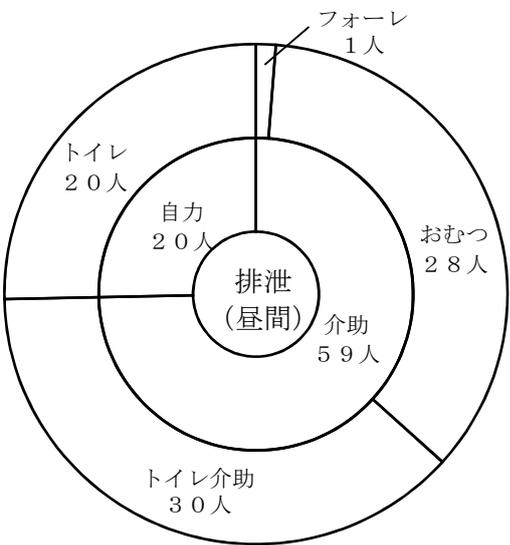
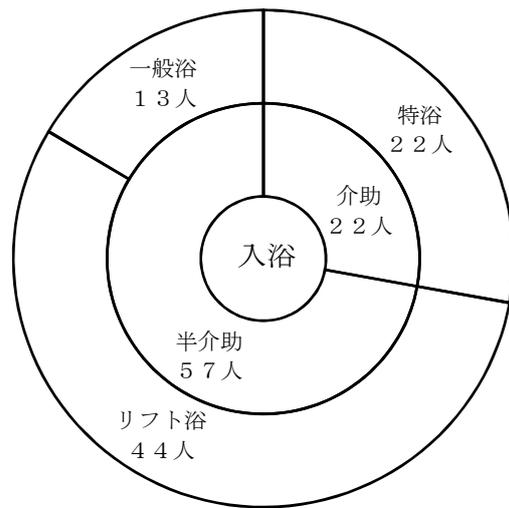
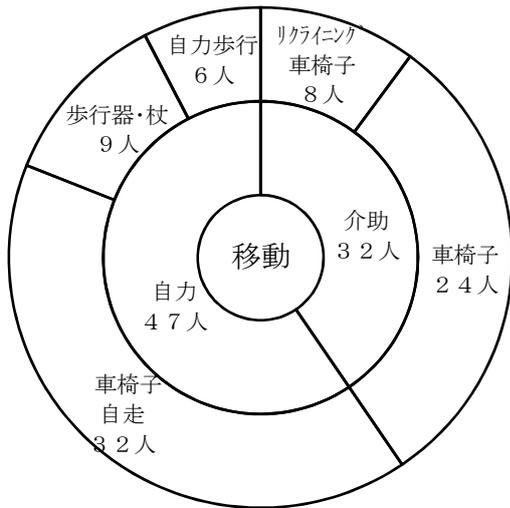
区分	入 所 期 間							入所者数	%	
	1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～ 5年未満	5年～ 10年未満	10年以上			
～64	男	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0		
65～69	男	0	0	0	0	0	0	0	1.3	
	女	0	0	0	0	0	1	0		
70～74	男	0	0	0	0	1	0	0	2.5	
	女	0	0	0	0	0	1	0		
75～79	男	2	0	0	0	1	0	0	14.0	
	女	3	1	2	0	0	2	0		
80～84	男	0	0	0	0	0	1	1	20.2	
	女	2	1	2	2	3	4	0		
85～89	男	1	0	1	0	0	0	0	22.8	
	女	6	5	0	1	2	2	0		
90～	男	1	0	0	0	0	0	0	39.2	
	女	6	5	4	5	1	7	2		
合 計	男	4	0	1	0	3	0	1	100	
	女	17	12	8	8	6	17	2		
	%	26.6	15.2	11.4	10.1	11.4	21.5	3.8	100	
	男	平均入所期間		4年1ヶ月	平均年齢		81.4歳			
	女			3年5ヶ月			87.9歳			
	総			3年6ヶ月			87.2歳			

※「平均年齢」及び「平均入所期間」欄は少数点第2位以下を四捨五入しています。

2. 要介護度別入所者状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	%
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	24	25	24	24	23	24	23	23	22	21	20	20	273	28.6
要介護4	31	31	30	34	34	33	33	34	34	35	35	37	401	42.1
要介護5	25	24	24	22	22	22	22	23	24	23	24	24	279	29.3
計	80	80	78	80	79	79	78	80	80	79	79	81	953	100
平均要介護度	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	

3. 日常生活動作（3月末日現在の入所者）



4. 入退所

(1) 月別延人数及び入退所人数 (入院者を除く)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分														
延利用人数		2,351	2,395	2,296	2,421	2,399	2,332	2,339	2,326	2,426	2,394	2,149	2,395	28, 223
平均入所人数		78.4	77.3	76.5	78.1	77.4	77.7	75.4	77.5	78.3	77.2	76.8	77.3	77.3
利用率		98.0	96.6	95.6	97.6	96.7	97.2	94.3	97.0	97.8	97.0	96.0	97.6	96.8
2年度延利用人数		2,363	2,473	2,393	2,479	2,480	2,379	2,407	2,388	2,450	2,446	2,186	2,436	28, 880
入所	男	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	5
	女	0	1	0	2	1	1	1	3	1	3	1	4	18
退所	男	0	2	0	1	2	1	0	1	0	0	2	0	9
	女	1	0	2	0	1	1	2	0	4	0	1	3	15
														23
														24

(2) 入退所経路 (年度中の入退所者)

区 分	入 所				退 所				
	自宅	他施設	病院等	計	死亡	自宅	他施設	病院等	計
男	2	2	1	5	8	1	0	0	9
女	13	3	2	18	10	1	0	4	15
計	15	5	3	23	18	2	0	4	24

5. 入退院（入院実人数）※前年度末より継続入院2名

区 分		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
入 院	男	1	1	1	2	2	1	1	1	0	1	2	0	13
	女	2	3	2	2	1	2	5	4	3	0	3	3	30
	計	3	4	3	4	3	3	6	5	3	1	5	3	43
入院中	退所	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	2	7
	死亡	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	2	1	7
延入院日数		39	71	33	62	5	48	88	49	8	4	45	30	482
退 院	男	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	3
	女	1	2	0	1	0	0	2	3	2	0	1	0	12
	計	1	2	0	2	1	0	2	4	2	0	1	0	15
月末入院人数		2	1	2	2	0	2	2	1	0	1	1	0	

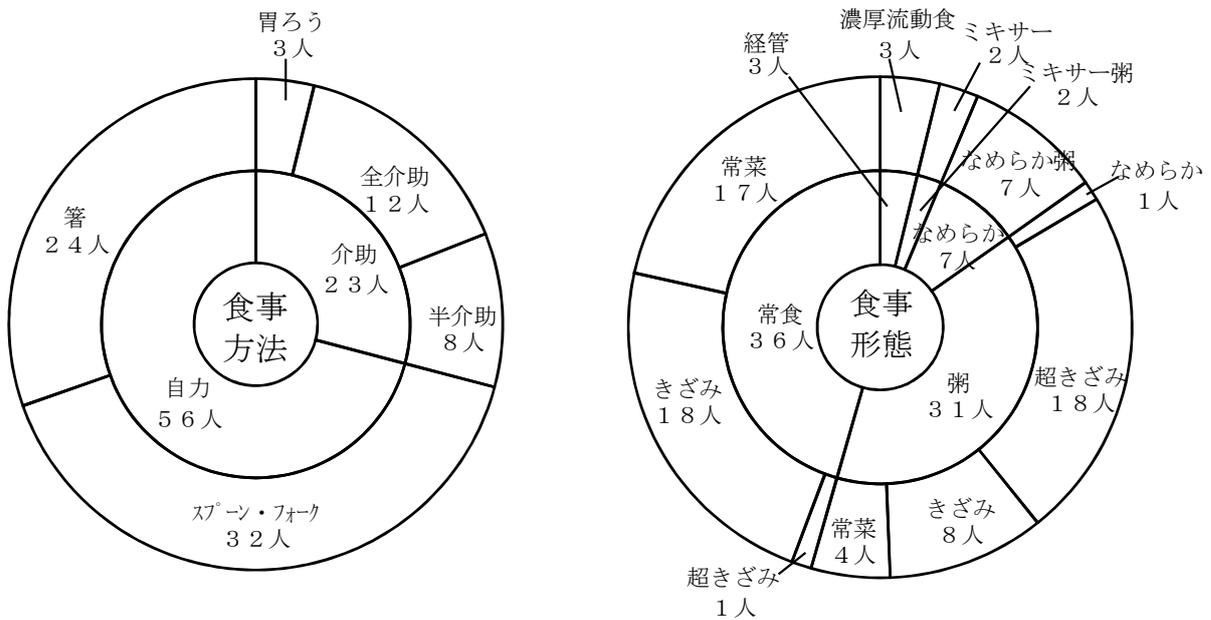
〔5〕 面会の状況

1. 月別面会人数（窓越し面会）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	2年度
人 数	62	79	77	109	85	88	50	80	152	157	97	103	1,145	685

〔6〕 給食の状況

1. 食事の方法及び形態（3月末日現在の入居者）



※なめらか食とは、ミキサーにかけた食材をゼリー、ムース状に固めたものです。

2. 行事食献立

月日	行事	献立
4月 1日	開園記念日	桜おこわ・すまし汁・天ぷら・赤魚粕漬焼き・炊き合わせ・菜の花お浸し
4月20日～ 4月22日	お好み焼きを 食べる会	お好み焼き・フルーツ
5月 5日	端午の節句	中華おこわ・すまし汁・ぶりの竜田揚げ・酢の物・フルーツ
5月 9日	母の日	赤飯・すまし汁・飛竜頭・ほうれん草胡麻和え・フルーツ
5月26日～ 5月28日	サンドイッチ を食べる会	サンドイッチ・コーンスープ・フライドポテト・フルーツ
6月20日	父の日	炊き込みご飯・味噌汁・さば竜田揚げ・青梗菜海苔和え・フルーツ
6月28日～ 6月30日	餃子 を食べる会	キムチ炒飯・餃子・ワカメスープ・フルーツ
7月 7日	七夕	七夕そうめん・天ぷら・フルーツポンチ
7月14日～ 7月16日	焼き焼き を食べる会	たこ焼き・焼きそば・焼き鳥
7月28日	土用丑の日	うな井・すまし汁・漬物・フルーツ
8月11日～ 8月13日	流しそうめん を食べる会	そうめん・薬味

8月15日	終戦記念日	ご飯・すいとん汁・さばの塩焼き・ひじき煮・フルーツ
9月11日	敬老会	赤飯・すまし汁・天ぷら・高野豆腐炊き合わせ・漬物・フルーツ
9月15日～ 9月17日	バーベキュー を楽しむ会	ご飯・鮭・ホッケ・お肉・かぼちゃ・玉葱・玉葱・フルーツ
9月21日	十五夜	月見うどん・里芋そぼろ煮・あんみつ
9月23日	秋分の日	松茸ごはん・すまし汁・手作り厚焼き玉子・酢の物・梨
10月18日	十三夜	栗おこわ・味噌汁・アジフライ・大豆とひじきの煮物・柿
10月20日～10 月22日	天ぷらを食 べる会	ご飯・味噌汁・天ぷら・漬物・フルーツ
10月27日	運動会	おにぎり・味噌汁・鶏唐揚げ・厚焼き玉子・ポテトサラダ・フルーツ
11月24日～11 月26日	ちゃんこ鍋を 食べる会	ご飯・ちゃんこ鍋・フルーツ
12月23日	忘年会	ご飯・すき焼き・フルーツ
12月31日	大晦日	年越しそば・ふろふき大根・みかん
1月1日～ 1月2日	正月	お雑煮・おせち料理・お煮しめ・なます・フルーツ
1月26日～1 月28日	カップラーメ ンを食べる会	ミニカップラーメン・おにぎり・焼売・フルーツ
2月 3日	節分	恵方巻き・すまし汁・菜の花酢味噌和え・いちご
2月8日～ 2 月10日	お好み焼きを 食べる会	お好み焼き・フルーツ
3月 3日	ひな祭り	ちらし寿司・すまし汁・茶碗蒸し・いちご
3月21日	春分の日	山菜おこわ・すまし汁・鱈の柚子味噌焼・菜の花の和え物・フルーツ

Ⅲ. ケアハウス桜花

〔1〕 行事等

1. 月別行事

月	行事・活動内容
3年 4月	
5月	
6月	・喫茶
7月	・喫茶
8月	・喫茶
9月	・敬老会
10月	・秋祭り
11月	・喫茶
12月	・喫茶
4年 1月	・新春の集い ・喫茶
2月	・節分豆まき ・喫茶
3月	・喫茶

2. 定期的に行なう行事等

行事名等	実施状況
月刊誌「桜花」の発行	毎月1回
かんたん体操	毎月2回
健康診断・レントゲン撮影	年1回
インフルエンザワクチン接種	年1回
職員健康診断	年1回

〔2〕 訪問等の受け入れ

1. 見学者

目的	組数
入居希望者	36組

〔3〕 会議等

内容	開催・実施状況等
会議（月例）	職員会議・部門連絡会・在宅利用連絡会・桜花会議・給食会議
消防訓練	総合避難訓練（令和3年11月29日） 参加 43名 （令和4年3月31日） 参加 44名
指導監査	静岡市指導監査 令和3年12月2日（書面監査）

〔4〕入居者の状況（3月末日現在の入居者）

1. 入居者の出身地

市町村 区分	静岡市	県内東部	県内中部	県内西部	県外	計
男	15	0	0	0	2	17
女	18	1	4	0	5	28
計	33	1	4	0	7	45

2. 在籍期間別入居者数

期間 区分	1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～ 5年未満	5年～ 6年未満	6年～ 7年未満	7年以上	計	平均在籍 期間
男	3	3	1	4	3	0	0	3	17	3年9ヶ月
女	6	2	1	5	2	2	1	9	28	6年3ヶ月
計	9	5	2	9	5	2	1	12	45	5年4ヶ月
%	20.0	11.1	4.4	20.0	11.1	4.4	2.2	26.8	100	
令和2年度%	17.8	6.7	22.2	11.1	4.4	2.2	8.9	26.7	100	

3. 年齢別入居者数

年齢(才) 区分	～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 ～94	95 ～99	100～	計	最高 年齢
男	0	1	3	6	2	4	1	0	0	17	91
女	0	0	2	2	4	10	8	2	0	28	97
計	0	1	5	8	6	14	9	2	0	45	
%	0	2.2	11.1	17.9	13.3	31.1	20.0	4.4	0	100	
令和2年度%	0	2.1	8.9	24.5	13.3	31.1	17.8	2.2	0	100	

※平均年齢83.9才（男性79.3才 女性86.8才）

4. 介護保険要介護認定人数

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均 介護度
人数	7	7	8	3	3	0	0	28	1.64
2年度人数	5	5	8	6	3	0	0	27	1.71

5. 介護保険利用状況（重複利用有）

区 分	訪問介護	通所介護	通所リハビリ	訪問看護	福祉用具貸与	福祉用具購入	計
男	4	1	1	1	5	0	12
女	9	9	1	1	11	0	31
計	13	10	2	2	16	0	43

6. 入浴の状況

区 分	大浴場 (デイ入浴含む)	個人浴室
人 数	38	7
%	84.4	15.6

7. クラブ活動等の参加状況

区分		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		回数	延人数												
書道	回数	2	2	2	2	1	0	2	2	2	2	2	2	2	21
	延人数	10	8	10	10	5	0	9	10	10	10	8	8	8	96
喫茶	回数	0	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0	1	1	7
	延人数	0	0	20	18	18	0	0	14	20	20	0	15	16	121

8. 入退居

(1) 月別入退居者数

区分		月												計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
初日 在籍人数	計	44	46	46	46	47	47	46	46	44	44	45	45	546	
	入居率	%	88	92	92	92	94	94	92	92	88	88	90	90	91.0
入居	男	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	5
	女	0	2	0	0	1	0	0	2	0	0	1	0	3	
退居	男	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	2	3
	女	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	
末日 在籍人数	男	18	19	19	18	19	18	16	17	17	17	17	17		
	女	25	27	27	27	28	28	27	27	27	27	28	28		
	計	43	46	46	45	47	46	43	44	44	44	45	45		

(2) 入退居経路 (年度中の入退居者)

区分	入居				退居				
	自宅	他施設	病院等	計	死亡	自宅	他施設	病院等	計
男	3	0	0	3	2	0	2	0	4
女	5	1	0	6	1	0	3	0	4
計	8	1	0	9	3	0	5	0	8

9. 入居前の生活 (3月末日現在の入居者)

区分	家庭				施設・病院等							合計
	家族と同居	老人夫婦	一人暮らし	計	養護老人ホーム	軽費老人ホーム	老人保健施設	一般病院	老人病院	その他施設	計	
男	6	3	8	17	0	0	0	0	0	0	0	17
女	7	2	15	24	0	0	1	2	0	1	4	28
計	13	5	23	41	0	0	1	2	0	1	4	45

10. 事務費負担区分の状況（3月末日現在の入居者）

対象収入による階層区分(年収)		事務費負担額	人数	%
1	～ 1, 500, 000	10, 000	21	46.6
2	1, 500, 001 ～ 1, 600, 000	13, 000	6	13.3
3	1, 600, 001 ～ 1, 700, 000	16, 000	1	2.2
4	1, 700, 001 ～ 1, 800, 000	19, 000	3	6.7
5	1, 800, 001 ～ 1, 900, 000	22, 000	3	6.7
6	1, 900, 001 ～ 2, 000, 000	25, 000	3	6.7
7	2, 000, 001 ～ 2, 100, 000	30, 000	1	2.2
8	2, 100, 001 ～ 2, 200, 000	35, 000	3	6.7
9	2, 200, 001 ～ 2, 300, 000	40, 000	3	6.7
10	2, 300, 001 ～ 2, 400, 000	45, 000	0	0
11	2, 400, 001 ～ 2, 500, 000	50, 000	0	0
12	2, 500, 001 ～ 2, 600, 000	57, 000	0	0
13	2, 600, 001 ～ 2, 700, 000	64, 000	1	2.2
14	2, 700, 001 ～ 2, 800, 000	70, 300	0	0
15	2, 800, 001 ～	70, 300	0	0
計			45	100

〔5〕 ゲストルーム利用状況

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	実人数		4	0	1	3	0	1	2	0	0	2	0	0
延利用日数		15	0	3	37	0	3	5	0	0	12	0	0	75
目的	体験入居	4	0	1	3	0	1	2	0	0	2	0	0	13
	利用者家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

〔6〕給食の状況

1. 行事食献立

	行 事	献 立
4月 1日 昼食	開園記念日	お祝膳(赤飯・春の天ぷら・煮メ・うどの酢味噌和え・香の物・果物) 吸い物・祝いまんじゅう
5月 5日 昼食	端午の節句	大葉寿司・味噌汁・カツオ竜田揚げ・柏餅
5月 9日 昼食	母の日	ベーコンときのこのこのパスタ・パンプキンスープ・ たまごサラダ・ティラミス
6月 20日 昼食	父の日	御飯・味噌汁・さばのうま塩唐揚げ又は鶏肉唐揚げみぞれソース・もずくの酢の物 水まんじゅう
7月 7日 昼食	七夕	七夕そうめん・夏の天ぷら・メロン
7月 28日 昼食	土用の丑	うな井・吸い物・茶碗蒸し・ケーキ・コーヒー
9月 11日 昼食	敬老会	お祝膳(五目寿司・赤飯・いなり寿司・秋の天ぷら・煮メ・鮭塩焼き・金時豆煮 玉子焼き・ほうれん草ごま和え・果物) 吸い物・祝い菓子
9月 21日 昼食	十五夜	月見うどん又は月見そば・揚げ出し豆腐・バナナ
9月 23日 昼食	秋分の日	五目寿司・味噌汁・鶏肉と長芋の照り煮・おはぎ
10月 31日 昼食	ハロウィン	オムライス・コーンスープ・かぼちゃのコロッケ・スパゲティサラダ・りんご
12月 22日 昼食	冬至	御飯・味噌汁・豚キムチ・南瓜含め煮・バナナ
12月 24日 昼食	クリスマス・イヴ	ロールサンド・コーンスープ・ローストチキン・隠元と蟹のマヨサラダ・いちご・コーヒー
12月 31日 夕食	大晦日	年越しそば・ごまおにぎり・味噌田楽・漬物・いちご
1月 1日 朝食	元旦	お雑煮・おせち盛り合わせ(紅白かまぼこ・錦玉子・数の子・昆布巻き・紅白ようかん 黒豆)・飲み物
1月 2日 昼食	三が日	お雑煮・おせち盛り合わせ(伊達巻き・紅白かまぼこ・なます・きんとん・田作り) ヨーグルト和え
1月 7日 朝食	人日	七草粥・がんと煮・ピーマンのちりめんじゃこ炒め・ホットミルク
1月 15日 朝食	小正月	小豆粥・甘辛豆腐の卵とじ・さつまあげ・漬物・野菜ジュース
2月 2日 昼食	節分	押しずし・豚汁・鰯の落とし揚げ・いちご
3月 3日 昼食	桃の節句	ちらし寿司・吸い物・ぬた和え・菜の花浸し・桜餅
3月 21日 昼食	春分の日	そばろ井・味噌汁・ぬた和え・香の物・ぼたもち

※ その他、誕生日食・その場で選べる選択食・入居者からのリクエスト食を提供。

IV 在宅サービス

【1】麻機園（ショートステイ）

1. 利用状況

区分		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用者	男	1	2	4	4	3	1	1	2	3	3	2	2	29
	女	15	18	15	14	18	16	19	18	16	17	15	15	197
計		16	20	19	18	21	17	20	20	19	20	17	17	226
延利用人数		277	302	266	290	333	293	336	290	381	433	343	313	3871
1日平均利用人数		9.2	9.7	8.9	9.4	10.7	9.8	10.8	9.7	12.3	14.0	12.3	10.1	10.6
1人平均利用日数		17.3	15.1	14.0	16.1	15.9	17.2	16.8	14.5	20.1	21.7	20.2	18.4	17.2
利用率		46.2	48.7	44.3	46.8	53.7	48.8	54.2	48.3	61.5	69.8	61.3	50.5	53.0
2年度利用率		56.0	59.2	57.0	64.2	70.7	73.7	58.9	61.8	73.2	67.4	69.1	49.2	63.3

2. 利用状況の比較

年度	区分			延利用人数	1日平均利用人数	1人平均利用日数
	男	女	計			
3年度	29	197	226	3,871人	10.6人	17.2日
2年度	38	217	255	4,623人	12.7人	18.1日

※ 年間利用者の男女比率：男性 12.8%、女性 87.3%

3. 介護度別実利用人数

区分		月												計	%
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
要支援1		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.5
要支援2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1		2	2	1	1	3	1	2	2	2	2	1	1	19	8.6
要介護2		1	1	1	1	3	4	1	1	1	0	0	0	15	6.8
要介護3		8	10	9	9	7	6	6	6	7	7	7	6	89	40.3
要介護4		3	3	4	4	4	5	8	9	7	7	6	8	68	30.8
要介護5		1	2	3	3	4	3	2	2	2	3	3	2	29	13.1
計		15	18	18	18	21	19	20	20	19	19	17	17	221	100
平均要介護度		3.00	3.11	3.39	3.39	3.14	3.06	3.25	3.40	3.32	3.47	3.59	3.59	3.32	
2年度要介護度		3.32	3.24	3.35	3.24	3.10	3.30	3.22	3.08	2.96	2.87	3.10	2.89	3.13	

【2】麻機園デイサービスセンター

〔1〕行事・活動

1. 日課

時 間	1 日 の 流 れ	備 考
9 : 3 0	利用者来園 ・手洗い、うがい お茶のサービス ・健康チェック ・職員挨拶	連絡帳受付 昼食人数チェック
1 0 : 1 5	リハビリ体操 ・健口体操	
1 1 : 3 0	昼食 休養 ・TV ・談話	
1 2 : 4 5	入浴開始 選択活動	
1 4 : 3 0	グループ活動	
1 5 : 3 0	おやつ ・談話等	
1 6 : 0 0	唄の会	
1 6 : 2 5	トイレ ・連絡事項	連絡帳返却
1 6 : 3 5	利用者退園準備	
1 6 : 4 0	利用者退園	送迎車出発

2. 月別実施内容

月	行 事	活 動 内 容
3年 4月	パンケーキ作り	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
5月	抹茶蒸しパン作り	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
6月	わらび餅作り	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
7月	水まんじゅう作り	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
8月	かき氷作り	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
9月	どら焼き作り	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
10月	運動会	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
11月	「安倍ごころ」遠足	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
12月	クリスマスバイキング	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
4年 1月	フレンチトースト作り	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
2月	白玉団子作り	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
3月	ぼた餅作り	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動

3. 定例・随時

・棒体操、リズム体操、ラジオ体操、歌、誕生会

〔2〕利用者の状況（介護予防も含む）

1. 月別登録人数・利用人数

月 区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
新規登録人数		0	0	2	0	4	1	0	1	0	0	0	2	10
登録廃止人数		1	1	0	1	0	2	1	1	1	1	0	0	9
登録人数	男	2	2	2	2	4	3	3	3	3	3	3	3	
	女	16	15	14	14	15	13	14	15	15	13	13	15	
	計	18	17	16	16	19	16	17	18	18	18	16	16	
2年度登録人数		18	19	19	19	18	19	20	20	19	19	19	18	
利用実人数		18	17	16	16	19	16	17	18	18	16	16	18	
実施日数		22	21	22	22	20	22	21	22	20	20	20	23	
延利用人数		209	181	178	200	151	178	176	170	153	136	158	178	2,068
1日平均利用人数		9.5	8.6	8.1	9.1	7.6	8.1	8.4	7.7	7.7	6.8	7.9	7.7	8.1
送迎		418	362	356	400	302	356	352	340	306	272	316	356	4,136
入浴		186	163	157	175	129	148	154	150	140	126	143	160	1,831
食事		209	181	178	200	151	178	176	170	153	136	158	178	2,068

※送迎は往復で1、片道で0.5

2. 利用状況の比較（定員18人）

区分	実施日数	年間延べ 利用人数	1日平均 利用人数	利用率
3年度	255日	2,068人	8.1人	45.1%
2年度	256日	2,342人	9.1人	50.8%

3. 利用者の家族構成（3月末日現在の利用者）

家族構成	3年度	2年度	元年度
独居老人世帯	1	2	2
老人夫婦の世帯	3	1	2
その他の世帯	14	15	15
計	18	18	15

4. 利用者の年齢（3月末日現在の利用者）

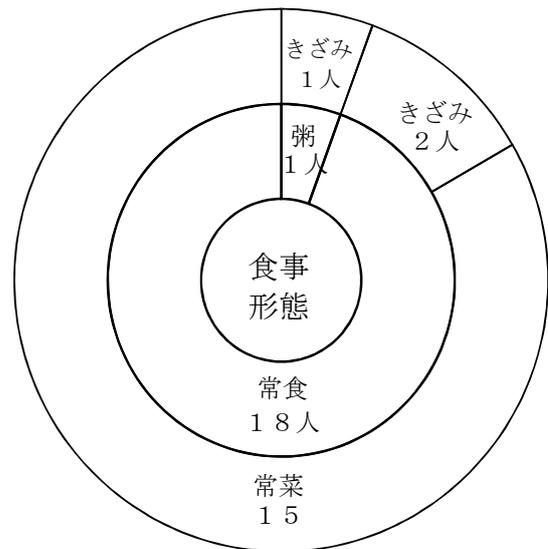
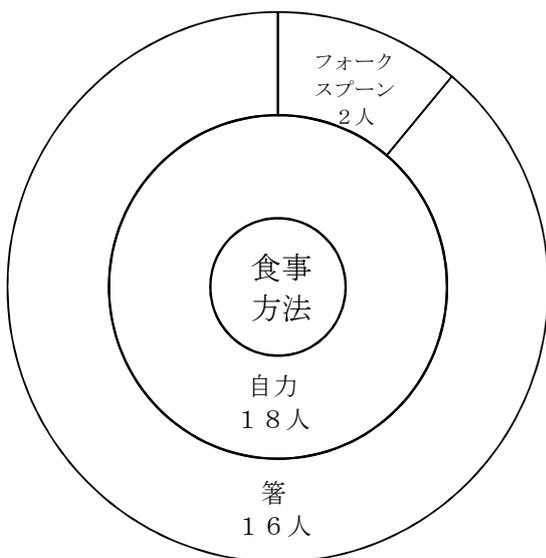
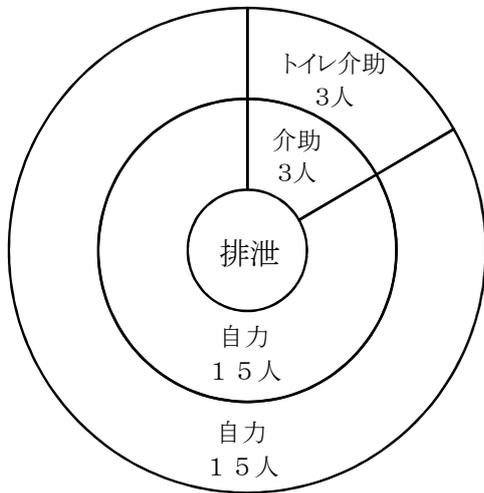
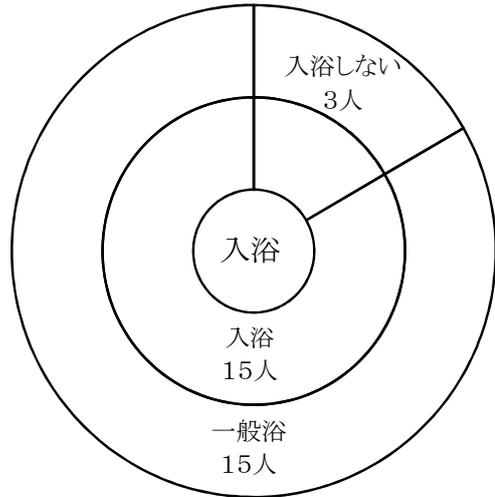
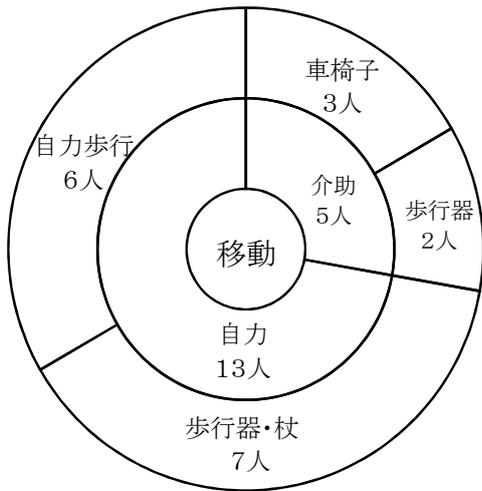
年齢(才) 区分	～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 ～94	95 ～99	100～	計	最高 年齢
男	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3	92
女	0	0	1	0	2	4	5	3	0	15	98
計	0	0	1	0	2	6	7	3	0	18	98
%	0	0	5.3	0	10.5	31.6	36.8	15.8	0	100	

※平均年齢 88.8才（男性 88.7才 女性 88.9才）

5. 要介護度別利用人数

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	%
事業 対象者	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	実人数	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	13	6.5
	延人数	4	4	4	5	7	3	4	5	4	4	4	4	52	2.4
要支援2	実人数	4	4	4	4	3	4	3	4	6	4	4	6	43	21.5
	延人数	29	29	30	30	21	34	31	33	22	19	23	26	327	15.8
要介護1	実人数	4	3	4	3	4	3	3	4	6	4	4	6	48	24.0
	延人数	44	41	44	46	35	37	41	44	52	39	56	63	542	26.2
要介護2	実人数	5	5	4	4	6	6	5	4	5	4	4	4	56	28.0
	延人数	72	67	63	68	63	86	76	58	58	55	54	60	780	37.7
要介護3	実人数	4	4	3	3	3	1	2	2	2	2	2	2	30	15.0
	延人数	60	40	37	39	14	6	16	16	16	16	19	23	302	14.6
要介護4	実人数	0	0	0	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10	5.0
	延人数	0	0	0	12	11	12	8	14	1	3	2	2	65	3.1
要介護5	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	実人数	18	17	16	16	19	16	16	17	18	15	15	17	200	100
	延人数	209	181	178	200	151	178	176	170	153	136	158	178	2,068	100
平均要介護度		1.8	1.7	1.7	1.8	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.6	1.5	1.5	1.6	

6. 日常生活動作能力（3月末日現在の利用者）



【3】麻機園ヘルパーステーション

〔1〕利用者の状況（介護予防も含む）

1. 月別利用世帯・人数

区分		月												計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
世帯	登録	29	28	28	28	29	28	28	27	28	28	26	27	334	
	派遣	29	28	28	28	28	27	27	26	28	27	26	26	328	
	2年度派遣	29	29	27	27	28	28	30	31	28	27	27	28	339	
人数	登録	男	8	8	8	7	7	7	7	7	8	8	7	8	90
		女	22	21	21	22	23	22	22	21	21	21	20	20	256
	派遣	30	29	29	29	29	28	28	27	29	28	27	27	340	
	2年度派遣	31	31	29	29	29	29	31	32	29	28	28	29	355	

2. 利用者の年齢（3月末日現在の利用者）

区分	年齢(才)	~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	計	最高年齢
	男	0	1	1	1	2	1	2	0	0	8	92
女	0	0	2	2	4	3	7	1	0	19	97	
計	0	1	3	3	6	4	9	1	0	27	97	
%	0	3.7	11.1	11.1	22.2	14.9	33.3	3.7	0	100		

※平均年齢 84.1才（男性 81.9才 女性 85.1才）

3. 利用者の要介護度

区分		月												計	%
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
要支援1		4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	45	14.1
要支援2		7	6	6	6	5	6	5	5	5	4	6	6	67	20.5
要介護1		8	9	9	9	10	10	11	10	10	12	11	10	119	36.3
要介護2		5	4	4	4	5	4	3	3	4	4	3	4	47	14.3
要介護3		4	4	4	4	4	3	4	4	5	4	3	3	46	14.0
要介護4		1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1.2
要介護5		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		29	28	28	28	28	27	27	26	28	27	26	26	328	100
平均要介護度		1.9	1.8	1.8	1.8	1.7	1.6	1.6	1.6	1.7	1.6	1.5	1.6	1.7	

4. 対象世帯数

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	2年度
独居老人世帯	22	21	21	21	22	22	22	21	22	21	22	22	259	247
老人夫婦世帯	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	40	53
老人同居世帯	4	4	4	4	4	3	3	3	4	4	2	2	41	39
65才未満世帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	30	29	29	29	29	28	28	27	39	28	37	37	340	339

5. 派遣状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	2年度
当初計画日数	89	90	91	93	92	88	92	89	91	90	85	98	1,088	1,042
実稼働日数	87	88	90	94	89	87	92	89	92	88	85	98	1,079	1,018
派遣 人数	実人数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	60
	延人数	267	279	302	296	279	294	289	280	278	272	264	296	3,396

※ 派遣ヘルパーの延べ人員及び実稼働日数：前年度比 102%、対象世帯数 105%

6. 活動時間

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	2年度
身体介護	131	140	149	138	136	144	147	139	137	149	143	158	1,711	1,489
生活援助	60	74	79	78	74	71	71	71	70	50	57	68	823	822
計	191	214	228	216	210	215	218	210	207	199	200	226	2,534	2,311

〔2〕 介護予防・日常生活支援総合訪問型生活援助サービス事業の状況

※令和3年度のご利用はありませんでした

【4】麻機園ケアプランサービス

〔1〕 利用者の状況

1. 実施状況

区分		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
要介護認定	訪問調査	11	10	10	11	10	10	10	9	10	11	10	10	122
	申請代行	8	8	12	4	4	6	7	5	9	5	10	9	87
ケアプラン作成数		66	70	70	74	73	75	75	73	73	73	70	74	866
2年度ケアプラン作成数		64	68	70	71	71	72	73	72	74	75	72	70	852

2. ケアプラン作成の状況

区分		月												計	%
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
要介護1		27	26	27	28	30	28	31	30	31	31	29	31	349	40.3
要介護2		18	20	21	21	20	19	15	14	16	17	14	15	210	24.2
要介護3		13	13	13	15	13	14	16	16	15	15	15	16	174	20.0
要介護4		7	8	7	8	8	11	11	9	8	8	7	8	100	11.5
要介護5		1	3	2	2	2	3	2	4	3	2	5	4	33	3.8
計		66	70	70	74	73	75	75	73	73	73	70	74	866	100
平均要介護度		2.0	2.2	2.1	2.1	2.1	2.2	2.1	2.2	2.1	2.0	2.2	2.1	2.1	

3. 介護予防プランの作成状況

区分		月												計	%
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
要支援1		14	13	13	14	15	17	17	18	18	17	16	18	190	44.8
要支援2		20	20	21	19	20	20	19	21	18	18	19	19	234	55.1
計		34	33	34	33	35	37	36	39	36	35	35	37	424	100
城北地域包括支援センター		31	30	31	30	33	34	33	36	33	32	31	33	387	91.2
長尾川地域包括支援センター		1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	11	2.5
八幡山地域包括支援センター		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	2.8
城東包括支援センター		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	2.8

千代田包括 支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0.5
-----------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----

〔2〕新たなケアプラン作成の依頼先及び廃止の状況

1. 依頼先の状況

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	%
家族から直接	2	0	1	0	3	2	2	3	0	1	2	1	17	38.6
被認定調査者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
民生委員等紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援から介護へ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2.2
地域包括支援 センターから紹介	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	6	13.6
法人職員の紹介	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	4	9.0
法人内施設	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	4.5
その他	1	1	1	3	0	5	1	0	0	0	1	1	14	31.8
計	4	3	2	3	6	7	3	4	0	2	5	5	44	100

2. 廃止の状況

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	%
介護から支援 へ変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病院・施設への 入院又は入所	0	0	1	3	3	3	1	2	0	2	0	1	16	55.1
死亡	0	1	0	2	0	4	1	0	2	1	1	1	13	44.8
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	1	1	5	3	7	2	2	2	3	1	2	29	100

〔3〕相談の状況

1. 相談方法の比較

区分		電話	来所	訪問	夜間	職員	計
3年度	件数	42	0	4	0	0	46
	%	95	0	5	0	0	100
2年度	件数	20	5	4	0	0	29
	%	69	17	14	0	0	100

2. 相談ケースの状況

状況	寝たきり	認知症	1人暮らし	虚弱	準寝たきり	生活自立	その他	計
件数	4	5	3	25	0	0	9	46

3. 相談内容

内容	介護方法	福祉用具	在宅福祉サービス	保健医療	施設入所	住宅改修	介護保険	介護予防	その他	計
件数	0	0	0	0	0	0	37	7	2	46
%	0	0	0	0	0	0	80.4	15.3	4.3	100
2年度%	0	0	0	0	0	3.4	86.4	10.4	0	100

4. 相談への対応

対応	情報提供・指導等	他機関斡旋	サービス調整	サービス申請代行	その他	計
件数	0	0	44	0	0	44
%	0	0	100	0	0	100
2年度%	0	0	100	0	0	100

社会福祉法人東桜会役員等

理事長	長谷川達也	評議員	岡田善雄
副理事長	秋山通	評議員	山田誠
理事	伊藤靖	評議員	平井哲男
理事	良知克彦	評議員	帯金武
理事	長島鈴江	評議員	深井千恵子
理事	佐藤勝洋	評議員	田村みね子
理事	海野隆由	評議員	船城秀樹
理事	小塚博	評議員	伊藤秋一郎
理事	杉浦徹	評議員	飯田道隆
理事	望月利孝	評議員	池田祐治
監事	永野守	評議員	繁田修
監事	望月敏弘	評議員	望月公二

発行日 令和4年5月25日
法人名 社会福祉法人 東桜会
所在地 〒420-0962
静岡県葵区東527番地の1
電話 (054)247-8739
FAX (054)247-8640
ホームページアドレス
<https://www.sakura.or.jp/>